KENWOOD

MP3/WMA対応デュアルサイズCD/MDレシーバー

DPX-930WMP

デュアルサイズCD/MDレシーバー

DPX-730M

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルですので、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

使いこなし!
ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセレクション
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード
TUNER モード
Name Set
ディスプレイコントロール
オーディオコントロール
サウンドマネジメントシステム
DSP/イコライザーコントロール
Fuction

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

オプション
リモートコントロール
Help

Help

? Operation
? MP3/WMA
? MD Group
? Multi Key
? Word

Designed for Windows Media™
SRS FOCUS
MDLP
COMPACT disc DIGITAL AUDIO

© B64-2606-00/00 (JW)

Contents

ここを読まなければ操作できない！
この取扱説明書を読むルールが書いてあります。

本書の読みかた

本書の読みかた ……………………………4
安全上のご注意 ……………………………6
使用上のご注意 ……………………………8
CDとMDの取り扱い ………………………10

リモコンでも操作できるゾ！

リモートコントロール

リモートコントロール ……………………62
各モード共通
電池の入れかた
本機に使用するリモコンについて
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSF モード
TUNER モード
TV モード
DSP/イコライザーコントロール
DNPS/SNPS

思ったとおりに動作しなかったとき
わからない用語が出てきたら…
困ったときのお助けページ！

Help

? Operation
? MP3/WMA
? MD Group
? Multi Key
? Word

Help? Operation……………………………68
Help? MP3/WMA ……………………………76
Help? MD Group ……………………………78
Help? Multi Key ……………………………79
Help? Word …………………………………80

付　録

取り付け時のご注意 ………………………86
取り付け用付属部品一覧 …………………88
取り付け手順 ………………………………88
システム配線 ………………………………89
電源ハーネスの接続 ………………………90
取り付け ……………………………………92
保証とアフターサービス …………………93
仕様一覧 ……………………………………94

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション

EZ Operation

CD、MD、FM/AM放送、交通情報の聴きかた …12

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション

Functional Operation

ソースセレクション ………………………14
ソース選択
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSF モード …16
トラック/ファイルサーチ
ディスク/フォルダ/グループサーチ
マニュアルサーチ
ポーズ
スキャンプレイ
ランダムプレイ
マガジンランダムプレイ
グループランダムプレイ
リピートプレイ
テキストスクロール
グループセレクト
フォルダセレクト
TUNER モード……………………………22
バンド切り替え
チューニング
マニュアルメモリー
オートメモリー
プリセットチューニング
チューナーリストチューニング
Name Set …………………………………26
DNPS（ディスクネームプリセット）/
SNPS（ステーションネームプリセット）
漢字の入力
AUXネームセレクト
ディスプレイコントロール ………………30
時計表示切り替え
時刻合わせ
操作パネル角度調節
デモンストレーション切り替え
ディスプレイ表示切り替え
スペアナ切り替え
壁紙の選択
動画の選択
サブスペアナ表示の選択

オーディオコントロール ……………………38
オーディオコントロール
交通情報音量設定

サウンドマネジメントシステム ……………40
サウンドマネジメントシステム
サウンドマネジメントモード
キャビン（車種）の選択
スピーカーサイズの選択
タイムディレイの調整
クロスオーバーの調整
タイムディレイ設定の登録
クロスオーバー設定の登録

DSP/イコライザーコントロール ……………46
DSP/イコライザー機能を使用する前に
DSPコントロールモード
DSPディフィート
DSPの設定
イコライザーカーブの選択
イコライザーカーブの調整
ユーザーイコライザーの登録
ユーザーイコライザーの呼び出し
フォーカス（SRS FOCUS）の選択
ソニックエンハンサーの選択
DSPコントロール設定の登録
DSPコントロール設定の呼び出し

Fuction ……………………………………………54
ファンクションセット
セキュリティコード
画像のダウンロード

オプションも使いこなそう！　オプションズ

Options

TVコントロール ………………………………60
チャンネル選択
バンド／ビデオ切り替え
プリセットコール
マニュアルメモリー
音声多重切り替え

FOCUS、SRSと（●）記号はSRS Labs,Inc.の商標です。
FOCUSはSRS Labs,Incからのライセンスに基づき製品化されています。

Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。

この製品は、ドルビーラボラトリーズライセンシングコーポレーションの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

本書の読みかた

この取扱説明書では、本機の使いかたや別売品を大きく次の４つのブロックに分けて説明しています。

ここさえ読めばひとまずOK!
イージーオペレーション
EZ Operation

すぐに使いたいかたのために、必要最小限の機能をできるだけ簡単に説明しています。
ここだけ読めば、とりあえずお使いいただけます。

使いこなし!　ファンクショナルオペレーション
Functional Operation

EZ Operationを習得したらここへ。
すべての機能をステップバイステップで説明しています。ここを読めば、十分に使いこなすことができます。

オプションも使いこなそう! オプションズ
Options

本機に接続できる別売品の機能の使いかたを説明しています。
別売品を接続しているときにお読みください。

Help

- ? Operation　思ったとおりに動作しなかったときの原因と対策を説明しています。
- ? MP3/WMA　プレイできるMP3/WMAファイルのメディアやそのフォーマットの説明をしています。
- ? MD Group　グループ登録済みMDの検索機能などを説明しています。
- ? Multi Key　マルチファンクションキーシステムについて説明しています。
- ? Word　取扱説明書やディスプレイに表示される用語を解説しています。

これらのほかに、リモコンによる操作を説明した［リモートコントロール］、本機の取り付け方法などを説明した［付録］があります。

取扱説明書に記載されているディスプレイ部やパネルの表記は操作説明を円滑に行うための表示例です。このため、実際の機器とは異なることや、実際にはありえない表示パターンが記載されていることがあります。

本文でのマークについて

共通の操作
ソースにかかわらない共通の操作を表しています。

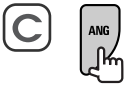
ディスクの操作
MDまたはCD/MP3/WMAをプレイする操作を表しています。
なお、この取扱説明書では、MDとCDをまとめて『ディスク』と呼んでいます。また、MP3/WMAの収録されたCD-Rなどを『メディア』と呼んでいます。

チューナーの操作
FM/AM放送を受信する操作を表しています。

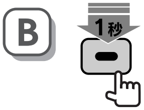
注意（注 意）
ケガなどを防ぐための大切な注意事項を表しています。

メモ
本機の損傷を防ぐための注意事項を表しています。
また、機能・使用方法の制限や使いかたのアドバイスも表しています。

短かく押す
ボタンをチョンと押すことを表します。
ボタンの上または右にマルチキー表示が示されているときはその表示の真下または左にあるボタンを押すことを表します。

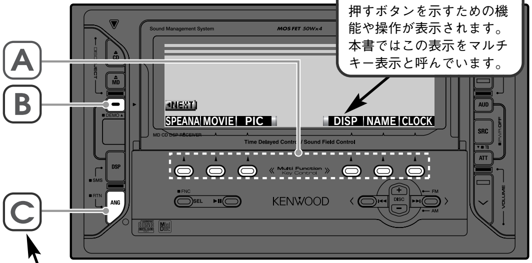


１秒以上押す
１秒以上（または2秒以上）押す操作を表します。



動作が始まるまで、または画面の表示が変わるまでボタンを押し続けることを表しています。
上記では１秒間押すことを示しています。また、メモリーに書き込むときなどは２秒間押します。押す秒数は矢印の中の表示を目安にできます。

ディスプレイコントロール



マルチキー表示
押すボタンを示すための機能や操作が表示されます。本書ではこの表示をマルチキー表示と呼んでいます。

この辺ボタンABC…
操作するボタンがどこにあるのか…、位置を表すためのマークです。

操作パ…

操作パネル…す。

パネルをスライドします。

C ANG

押すたびに、操作パネルが１ステップずつ10段階にスライドします。

パネルを元の位置に戻します

C 1秒 ANG

パネルが動き始めるまで押し続けます。

- 電源をオフにするとパネルは数秒後に元の状態に戻ります。再び電源をオンにすると、調節した角度になります。
- パネルスライド中は、FM…は出力されません。

ディスプレイ表示
このディスプレイが表示されるまでボタンを押すことを表します。

デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。

B 1秒

Demonstration On

"Demonstration On"と表示されるまで押し続けます。
１秒以上押すたびに、デモンストレ…ン/オフします。

ディスプレイタイプ選択

Multi <ディスプレイキーモード>

ディスプレイの表示タイプを切り替え…

A DISP

押すたびに次の順に切り替わります。

ALL OFFモード時

ALL OFF	グラフィック+ALL O…
A…	

ディスプレイ表示スクロール
ボタンを押すたびに切り替わるモードや表示を表します。

TUNER/交通情報受信時

TUNER	グラフィック+周波数
SNPS	グラフィック+ステー…
SNPS	周波数 +ステーションネーム
	グラフィック

表示される文字または内容

内容の説明

上記マーク表記例は実際の操作とは異なります。

Functional Operation
ソースセレクション
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード
TUNER モード
Name Set
ディスプレイコントロール
オーディオコントロール
サウンドマネジメントシステム
DSP/イコライザーコントロール
Fuction
EZ Operation
オプション
リモートコントロール
Help

安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用の前によくお読みください。

絵表示について：
この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠**警告**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠**注意**	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容を示しています。

絵表示の例

注 意
⚠記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。

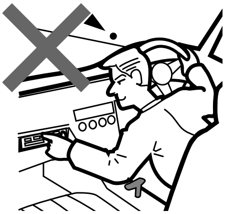
禁 止
⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

実 施
❶記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

⚠警告



実 施

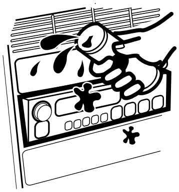
運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
- カーオーディオの操作（音量調節、ディスクの挿入・取り出し　など）

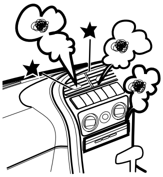
実 施

運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。

以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所へご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- 音が出ない
- ディスプレイが表示されない
- 異物が入った
- 水がかかった
- 煙が出る
- 変な匂いがする





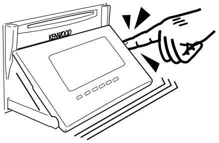
禁 止

修理は必ず購入店、ケンウッドサービスセンター、または営業所にご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。

禁 止

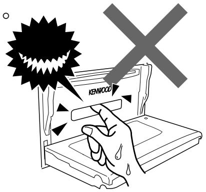
製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

⚠注意



禁 止

操作パネル部の開閉中には、手や指を近づけないでください。挟まれてケガをすることがあります。



禁 止

ディスク挿入口に手や指を入れないでください。ケガをすることがあります。

禁 止

本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。

禁 止

本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。

禁 止

本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。
ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。

実 施

本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため＜お買い上げの販売店＞にご依頼ください。

使用上のご注意

本機に接続できるシステムについて

本機には、1998年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種はカタログをご覧ください。

●

1997年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、および他社製のディスクチェンジャーは接続することはできません。接続すると破損や故障の原因となります。

●

“O-Nスイッチ” の付いているケンウッド製ディスクチェンジャーは “N” 側に設定してください。

●

接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。

●

本機のDNPS機能はCDチェンジャーに内蔵の記憶機能を使用するのではなく本機内部の記憶機能を使用します。このため、CDチェンジャーに記憶されているDNPS可能枚数とは関係なく、すべてのCDの合計で50枚まで記憶することができます。

●

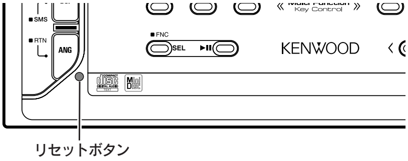
別売品のCD/MDスイッチングユニット “KCA-S210A” を使用するとディスクチェンジャーを2台まで、またはディスクチェンジャーとLX-BUS接続の機器を１台ずつ接続することができます。接続などの詳しい説明は「システム配線」(89ページ) およびKCA-S210Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

オートアンテナ付き車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、チューナーモードにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。
天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送以外のソースに切り替えてください。

異常にお気づきのときは

本機の異常にお気づきのときは、まず「Help」(68ページ) を参照して解決方法がないかお調べください。解決方法が見つからないときは、本機のリセットボタンをペン先などで押してください。



●

リセットボタンを押しても正常に戻らないときは、本機の電源をオフにして、購入店またはお近くのケンウッドサービスセンターへ相談してください。

●

操作パネルがスライドした状態のときに異常が起こり閉じられない場合は、操作パネルの上部を引き上げながら下部を押すことにより手動で閉めることができます。

お手入れについて

本機の前面パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーをいったん布に付けてから汚れを落とし、その後洗剤を拭き取ってください。
スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与えたり、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

結露について

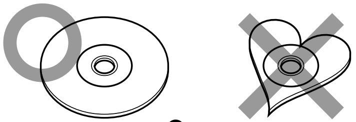
寒いときにヒーターを付けた直後など、本機の内部に露（水滴）が付くことがあります。これを結露といい、この状態ではディスクの読み取りができなくなります。
このようなときは、ディスクを取り出して約１時間ほど放置すると、結露が取り除かれます。
もし、何時間たっても正常に作動しない場合は、購入店またはケンウッドサービスセンターへ連絡してください。

温度について

直射日光下で窓を閉めきっていると、自動車内は非常に高温になります。
本機内部が60℃を越える高温になると、保護回路が働いてディスクの演奏ができなくなります。
このようなときは、車内の温度を下げてください。保護回路機能が解除され、演奏ができる状態になります。もし正常に動作しないときはリセットボタンを押してください。

使用できないCD

特殊な形状のCDは使用できません。必ず円形のものをご使用ください。円形以外のCDを使用すると故障の原因になります。



●

記録面（レーベル面の反対側）が着色してあるものや汚れているCDは引き込まない、取り出せないなどの誤動作をすることがあります。

●

本機でプレイ可能なディスクは COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable、COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable マークの入ったCDだけです。
前記マークの入っていないディスクは、プレイが正しくできない場合があります。

●

ファイナライズ処理を行っていないCD-RおよびCD-RWは再生できません。（ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください）
このほかにもCD-RやCD-RWで記録されたCDは、記録状態により再生できない場合があります。

●

レーベル面にシールの貼ってあるCDを使用すると、CDが変形したり、シールがはがれることがあります。本機の故障の原因となることもあるため、レーベル面にシールの貼ってあるCDは使用しないでください。

●

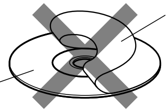
インクジェットプリンターでレーベル面に印刷可能なCD-R/CD-RWは使用しないでください。使用すると、誤動作することがあります。

レンズクリーナーについて

レンズクリーナーは使用しないでください。光学系部品に損傷を与えたり、イジェクトができなくなるなど、故障の原因になる場合があります。

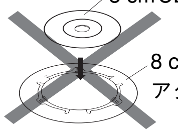
CD用アクセサリーについて

音質向上やディスク保護を目的としたディスク用アクセサリー（スタビライザー、保護シート、レンズクリーナーなど）は故障の原因となりますので使用しないでください。



●

8cmCDはアダプターは使用せず、そのまま挿入してください。8cmCDアダプターを使用するとディスクが取り出せなくなるなど、故障の原因になります。
また、接続するCDチェンジャーで8cmCDを使用する場合は別売の8cmCD用マガジンをご使用ください。



データ用のMDについて

データ用のMDは使用できません。音楽用のMDを使用してください。

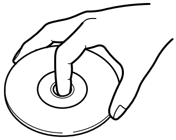
ラベルのはがれかかったMDは

ラベルのはがれかかったMDは使用しないでください。ラベルが浮いていたり、はがれかかっているMDを使用すると、本機の中ではがれて取り出せなくなるなど故障の原因となります。

CDとMDの取り扱い

CDの取り扱いについて

CDの汚れや、ゴミ、キズ、反りなどが、音飛びなどの誤動作や、音質劣化の原因になることがあります。
取り扱いは記録面に触れないようにしてください。（レーベルが印刷されていない面が記録面です。）

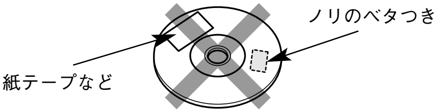


●

CD-RやCD-RWは通常の音楽CDより反射膜が弱いため、傷が付くことなどにより、はがれることがあります。また、指紋による音飛びにも弱いメディアです。取り扱いには十分注意をしてください。
詳細な注意事項がCD-RおよびCD-RWのパッケージなどにも書かれています。それらの注意事項も読んでから使用してください。

●

記録面や、レーベルが印刷されている面に紙テープなどを貼らないでください。
CDにセロハンテープやレンタルCDのラベルなどのノリがはみ出したり、はがした痕があるものはお使いにならないでください。そのままCDプレーヤーにかけるとCD が取り出せなくなったり、故障することがあります。



CDの保存

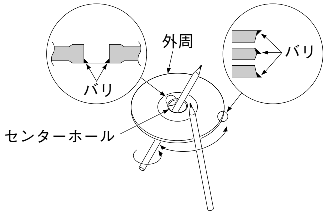
直射日光があたる場所（シートやダッシュボードの上）など、温度が高い場所には置かないでください。
特にCD-R、CD-RWは通常の音楽CDに比べ、高温、多湿の環境に弱く、ディスクによっては車内に長時間放置すると使用できなくなる場合があります。

●

長期間演奏しないときは、本機からCDを取り出して、ケースに入れて保管してください。
キズ、汚れ、反りの原因になりますので、ケースに入れずに重ねて置いたり、斜めに立てかけて保存しないでください。

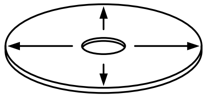
新しいCDを使うときは

新しいCDを使うときは、CDのセンターホールや外周部に“バリ”がないことを確認してください。“バリ”がついたまま使用すると、CDが挿入できなかったり音飛びの原因になります。“バリ”があるときは、ボールペンなどで取り除いてから使用してください。



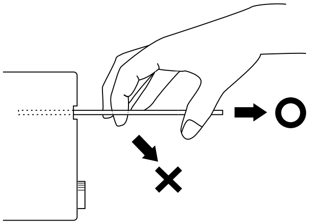
CDのお手入れ

CDが汚れたときは、市販のクリーニングクロスや柔らかい木綿の布などで、中心から外側に向かって軽くふき取ってください。
従来のレコードクリーナー、静電防止剤や、シンナーやベンジンなどの薬品は絶対に使用しないでください。



CDの取り出しかた

本機からCDを取り出すときは水平方向に引き出してください。
下側に強く押しながら引き出すとCDの記録面に傷を付ける原因となります。

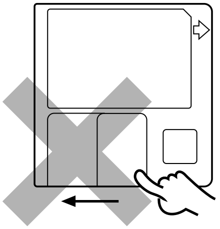


MDのお手入れ

カートリッジ表面の汚れや、ゴミは乾いた布でふき取ってから使用してください。特に油汚れが付いた状態で使用しますと、ディスクがローディングされなかったり、取り出せなくなることがあります。
また、お手入れされるときは、シャッターを開かないようご注意ください。

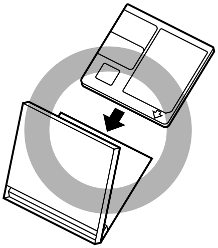
MDのシャッターについて

MDのシャッターは開けられないようになっています。無理に開けるとカートリッジが破損して使用できなくなります。
シャッターが何らかの原因で開いてしまったときには、記録部分を指で触らないようにしてください。記録部分に触れると使用できなくなったり、音飛びを頻繁に起こすようになります。



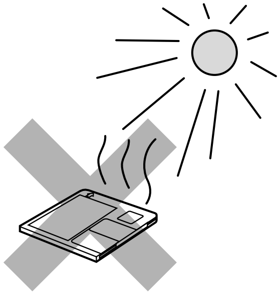
保管について

MDを長時間本機に入れたままにしないでください。また、取り出したMDは、MD専用ケースに入れて保管してください。



高温に注意

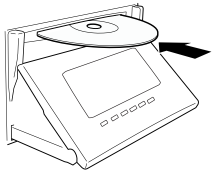
MDを直射日光の当たる場所（ダッシュボードの上など）など温度が高くなるような場所に放置しないでください。MDのカートリッジが変形して使用できなくなります。



ディスクのプレイは簡単！　ディスクを差し込むだけです。

CDをプレイするときは…

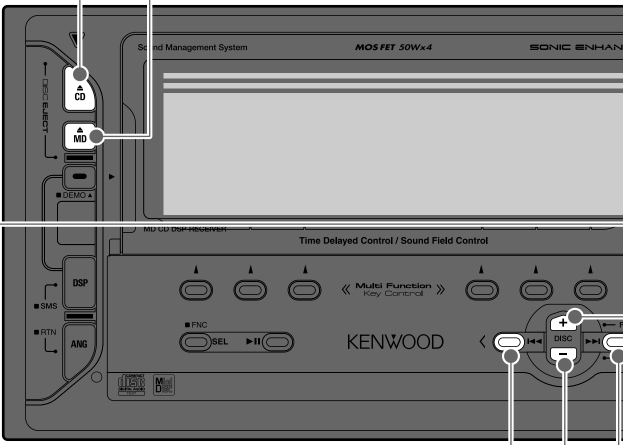
(CD EJECT)を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするCDを差し込みます。
CDが引き込まれ、パネルが閉まります。



CDを取り出すときは…

(CD EJECT)を押します。
操作パネルがスライドして、CDがイジェクトされます。
もう一度 (CD EJECT)を押すと、パネルは閉じます。

- DPX-930WMPでプレイできるMP3/WMAメディアや、フォーマット、書き込み方法の注意などが「Help? MP3/WMA」（76ページ）に記載してあります。メディアを作成する前にご覧ください。
- CDを挿入するときは必ず (CD EJECT)を押して操作パネルをスライドしてください。「操作パネル角度調節」（31ページ）で角度を調整している状態でCDを無理に挿入するとCDに傷を付ける原因となります。



電源をオン/オフします。

押すと電源がオンになります。
１秒以上押すと、電源がオフになります。

MD/CDのプレイとFM/AM放送を切り替えます。

ディスクが入っているときに押すと、FM/AM放送、MD、CD、ALL OFFに切り替わります。
MDが入っているときは インジケーターが点灯し、CD/メディアが入っているときは インジケーターが点灯します。

プレイする曲を選びます。

受信する放送局を選びます。

受信状態の良い放送局を自動的に受信します。
チューニングモードの設定により、周波数を１ステップずつ変えたり、メモリーしている放送局を順に受信するようにもできます。（54ページ）

交通情報の周波数 (1620kHz/ 1629kHz/ 522kHz)を選びます。

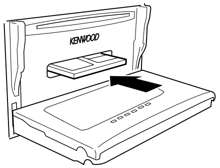
- CDがイジェクトされないときは、CDが出るまで (CD EJECT)を押し続けてください。
- ディスクのイジェクト状態（操作パネルをスライドさせた状態）で可能な操作は、ディスクの挿入、イジェクト、音量調整、ソース選択だけです。
- スライドさせたパネルに無理な力を加えないでください。

MDをプレイするときは…

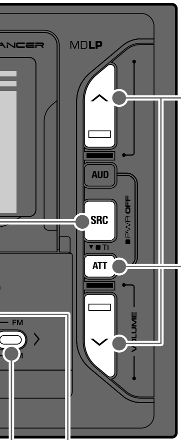
(MD EJECT)を押して操作パネルをスライドさせ、プレイするMDを差し込みます。MDが引き込まれ、パネルが閉まります。

MDを取り出すときは…

(MD EJECT)を押します。
操作パネルがスライドして、MDがイジェクトされます。
もう一度 (MD EJECT)を押すとパネルは閉じます。



- MDLPで録音されたMDのプレイ中は、LP 2 モードのときは“LP 2”インジケーター、LP 4 モードのときは“LP 4”インジケーターが点灯します。
- 本機はグループ管理機能を搭載しています。詳しくは、「Help? MD Group」（78ページ）をご覧ください。



音量を上げます。

音量を下げます。

音量を素早く下げます。
もう一度押すと、元の音量に戻ります。

1秒以上押すと、交通情報を受信します。
もう一度、１秒以上押すと元に戻ります。

FM放送のバンド（FM1/FM2）を切り替えます。

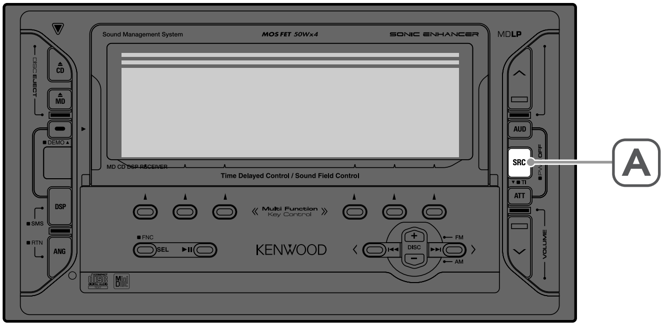
次のMP3/WMAフォルダ、MDグループを選びます。

AM放送のバンド（AM1/AM2）を切り替えます。

前のMP3/WMAフォルダ、MDグループを選びます。

注 意
- 安全のため、周囲の音が聞こえる音量でお聴きください。
- 操作パネルを開いたときにシフトレバーなどに干渉する場合は、安全に注意してシフトレバーを動かしてください。

ソースセレクション



ソース選択

プレイするソースを切り替えます。

押すたびに次の順で切り替わります。

- TUNER — FM/AM放送を受信
- ▼ Mini Disc — MDをプレイ
- ▼ Compact Disc — CDまたはMP3/WMAファイルをプレイ
- ▼ AUX — 内蔵AUXに入力された音を出力（DPX-930WMPのみ）
- ▼ ALL OFF — 電源をオンのままで機能を停止

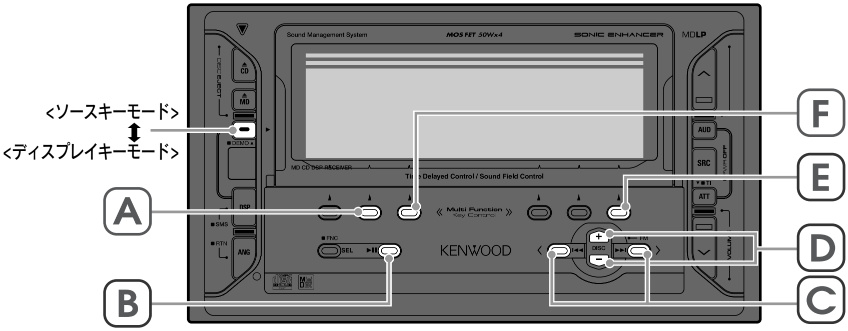
別売品のユニットが接続されているときには、次の順で切り替わります。

- TUNER — FM/AM放送を受信
- ▼ Mini Disc — MDをプレイ
- ▼ Compact Disc — CDまたはMP3/WMAファイルをプレイ
- ▼ CD Changer(1～2)など — 接続した外部ディスクプレーヤーのディスクをプレイ
- ▼ AUX — 内蔵AUXに入力された音を出力（DPX-930WMPのみ）
- ▼ TV — 接続したLX-BUS TVモニターの放送を受信
- ▼ ALL OFF — 電源をオンのままで機能を停止

プレイするソースを選びます。

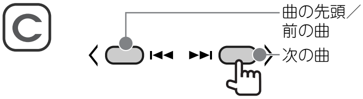
- “Compact Disc”モードでMP3/WMAファイルを再生できるのはDPX-930WMPのみです。
- MP3/WMAのメディアが挿入されているときは、“Compact Disc”モードを選択することにより、MP3/WMAファイルのプレイができます。
- “AUX”ソースには「ファンクションセット」（54ページ）の“AUX”項目が“On”に設定されているときに切り替わります。
- 外部ディスクプレーヤーを選択時の表示例
  “CD Changer（1～2）”：CDチェンジャー
  “MD Changer（1～2）”：MDチェンジャー
  “Disc Changer（1～2）”：ディスクチェンジャー
  “HDD-EX”：HDX-700（別売品）などの音楽ファイル（KSF）ソース
- 別売品のKCA-S210AまたはCA-C1AXに入力したAUXソースは、次のように選択できます。
  KCA-S210Aに入力したAUXソースを選ぶ場合：
  “AUX1”表示を選択。
  CA-C1AXに入力したAUXソースを選ぶ場合：
  “Disc Changer”表示を選択。
  （確定後に“AUX Mode”表示になります）

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



トラック/ファイルサーチ

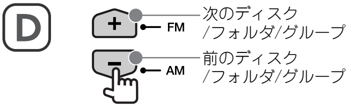
プレイする曲を選びます。



ディスク/フォルダ/グループサーチ

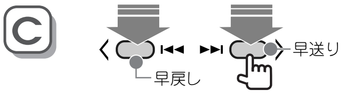
(ディスクチェンジャー、MP3/WMAメディア、KSF、グループ登録済みMDのみ)

プレイするディスクやフォルダを選びます。



マニュアルサーチ

現在プレイ中の曲を早送り／早戻しします。



ボタンを押している間だけ、早送り／早戻しされます。

- MP3/WMAファイルをプレイ時は、マニュアルサーチ中に音は出ません。
- KSFをプレイ時は、マニュアルサーチできません。

ポーズ

現在プレイ中の曲を一時停止します。

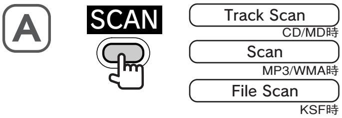
もう一度押すとプレイを再開します。

スキャンプレイ

Multi [−] <ソースキーモード>

ディスクやフォルダ、グループ内の各曲の先頭部分を10秒間ずつプレイして曲を探します。

1 スキャンプレイを開始します



スキャンプレイ中は“SCAN”が反転表示されます。

2 聴きたい曲のところで…

その曲からプレイされます。

すべての曲がスキャンプレイされると、スキャンプレイは自動的に終了します。

CD/MD/MP3/WMAや別売品のディスクチェンジャー、HDX-700の音楽ファイル（KSF）ソースでいろいろな機能を使ってプレイします。

基本的なCD/MDの聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

Multi [ー] は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

ランダムプレイ

Multi [ー] <ソースキーモード>

現在のディスクやフォルダ、全グループ内の曲をランダムな順でプレイします。

F　RDM　Random（CD/MD/MP3/WMA時）　Folder Random（KSF時）

押すたびに、ランダムプレイがオン/オフされます。
ランダムプレイ中は“RDM”が反転表示されます。

- ►►I〈 〉を押すと、次の曲をランダムに選択します。（KSFプレイ時は[+]←FMまたは[−]←AMを押します）
- 全グループ内の曲をランダムプレイ中に、グループサーチはできません。

マガジンランダムプレイ

(ディスクチェンジャーのみ)

Multi [ー] <ソースキーモード>

ディスクチェンジャーにセットされているディスクの中からランダムな順でプレイします。

E　MRDM　M-Random

押すたびに、マガジンランダムプレイがオン/オフされます。
マガジンランダムプレイ中は“MRDM”が反転表示されます。

►►I〈 〉を押すと、次の曲をランダムに選択します。

グループランダムプレイ

(グループ登録済みMDのみ)

Multi [ー] <ソースキーモード>

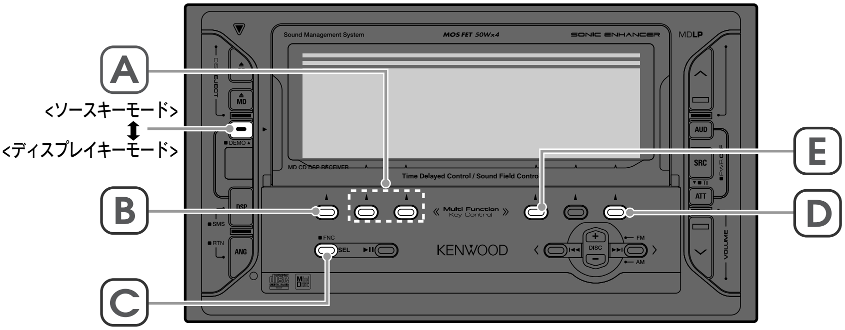
グループ登録済みMDを再生中にグループ内の曲をランダムな順でプレイします。

E　GRDM　Group Random

押すたびに、グループランダムプレイがオン/オフされます。
グループランダムプレイ中は“GRDM”が反転表示されます。

►►I〈 〉を押すと、次の曲をランダムに選択します。

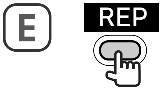
CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



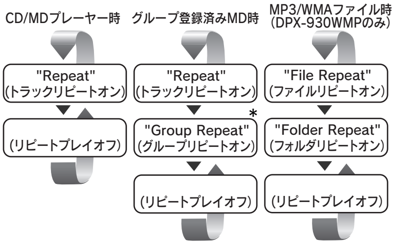
リピートプレイ

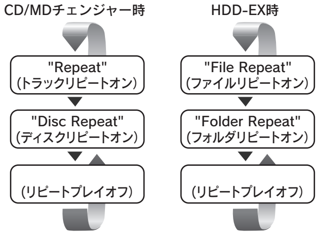
Multi **<ソースキーモード>**

現在聴いている曲またはディスク/フォルダ/グループ内の曲を繰り返しプレイします。



押すたびに、次のようにオン/オフします。
リピートプレイ中は“REP”が反転表示されます。





＊:“Group Repeat”は「ファンクションセット」(54ページ)で“MD Group”項目が“On”ときに選択できます。

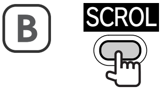
テキストスクロール

テキスト表示を、スクロール設定が“Manual”のときにスクロールさせます。

1 テキスト表示にします

「ディスプレイ表示切り替え」(32ページ)を参照して、テキスト表示にします。

2 スクロール表示します



表示中のテキストが1回スクロールします。

- スクロール可能なテキスト表示については、「Help? Word」の「Scroll」(82ページ)を参照してください。
- スクロール設定を“Auto”にしているときに上記の操作を行うと、テキストが最初の文字からスクロールを開始します。スクロール設定は、「ファンクションセット」(54ページ)の“Scroll”項目で選択できます。

Multi － は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

グループセレクト
(グループ登録済みMDのみ)

聴きたい曲が入っているグループを、グループ表示で選択します。

1 グループセレクトモードにします

C SEL

ディスプレイに以下の表示がされて、1グループから表示します。

2 グループを選びます

A ▲ ▼

次のグループ

前のグループ

押すたびに、次のグループ／前のグループへと移動します。

グループネームをスクロールするときは…

B SCROL

3 聴きたい曲が入っているグループで…

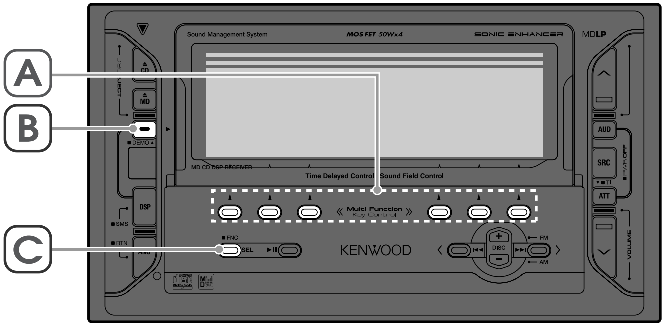
D ENTER

グループセレクトモードが終了し、そのグループ内の最初の曲がプレイされます。

グループセレクトを中止するときは…

C SEL

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード



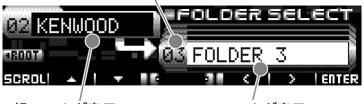
フォルダセレクト

(DPX-930WMP: MP3/WMAメディアのみ)

聴きたいMP3/WMAの曲が入っているフォルダをすばやく選択します。

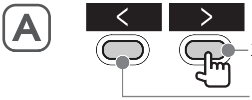
1 フォルダセレクトモードにします

ディスプレイに以下の表示がされます。



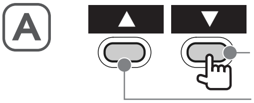
2 フォルダを選びます

同階層内にあるフォルダ間を移動します



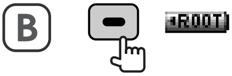
押すたびに、同階層内で次のフォルダ／前のフォルダへと移動します。

フォルダの階層を選択します



押すたびに、1階層上/1階層下へと移動します。

第1階層へ戻ります

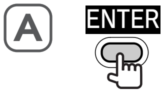


最上階層のフォルダに戻ります。

フォルダセレクト時のフォルダの移動のしかたは、フォルダサーチとは異なります。詳しくは「Help? MP3/WMA」(76ページ)を参照してください。

フォルダネームをスクロールするときは…

3 聴きたい曲が入っているフォルダで…

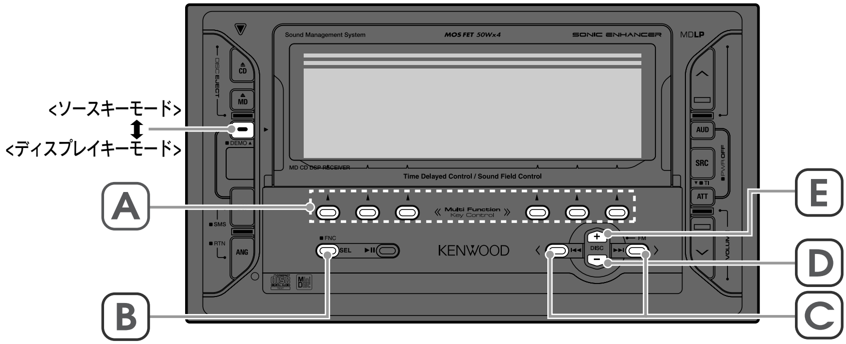


フォルダセレクトモードが終了し、そのフォルダ内の最初のMP3/WMAファイルがプレイされます。

フォルダセレクトモードを終了して、選択したフォルダにMP3/WMAファイルがないときは、プレイ順で一番近いファイルがプレイされます。

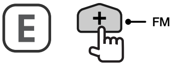
フォルダセレクトを中止するときは…

TUNER モード

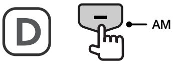


バンド切り替え

FM1とFM2に切り替えます。



AM1とAM2に切り替えます。



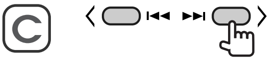
チューニング

受信する放送局を選びます。

1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



チューニングモードが “Auto 1” のとき
(AT1インジケーターが点灯しています)
受信状態の良い放送局を自動的に選びます。

チューニングモードが “Auto 2” のとき
(AT2インジケーターが点灯しています)
メモリーされている放送局を番号順に受信します。(メモリーの方法は右記を参照してください)

チューニングモードが “Manual” のとき
押すたびに、周波数が 1 ステップずつ変わります。

- チューニングモードは「ファンクションセット」(54ページ)の “SEEKモード” 項目で選択できます。
- FMステレオ放送を受信するとSTインジケーターが点灯します。

FM/AM放送を受信します。
また、各バンドごとに6局までの放送局をメモリーしておくこともできます。

基本的なFM/AM放送の聴きかたはEZ Operation（12ページ）をご覧ください。

Multi ▬ は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

マニュアルメモリー

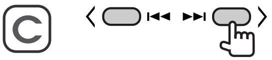
Multi ▬ <ソースキーモード>

受信中の放送局をメモリーします。

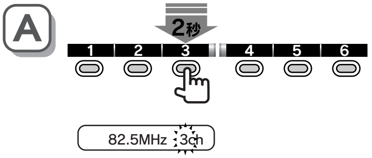
1 バンドを選びます

前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 放送局を選びます



3 メモリーするボタン（1~6のいずれか）を選びます



ボタンナンバー表示が1回点滅するまで押し続けます。

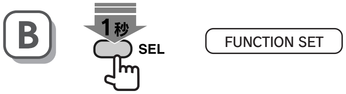
オートメモリー

受信状態の良い放送局を自動的に選んでメモリーします。

1 バンドを選びます

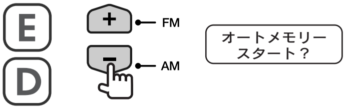
前記の「バンド切り替え」を参照してバンドを選びます。

2 ファンクションセットモードにします

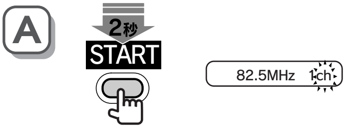


“FUNCTION SET”と表示されるまで押し続けます。

3 オートメモリー項目を選択します



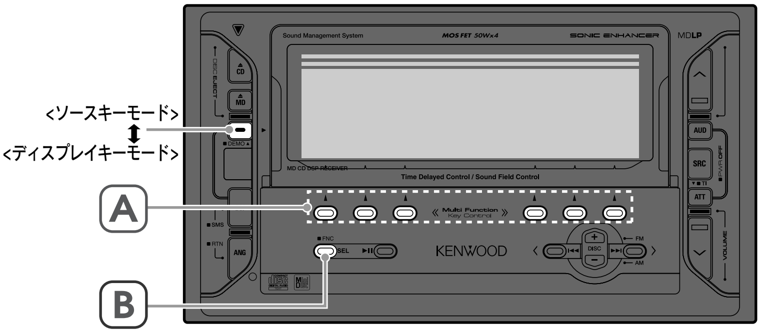
4 オートメモリーを開始します



周波数表示になるまで押し続けます。

❗ 6局メモリーするか、周波数を1周すると自動的にオートメモリーは終了します。

TUNER モード



プリセットチューニング

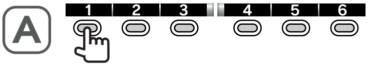
Multi − <ソースキーモード>

メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 バンドを選びます

「バンド切り替え」（22ページ）を参照してバンドを選びます。

2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



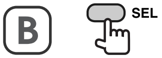
82.5MHz　1ch

押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされている周波数が呼び出されます。

チューナーリストチューニング

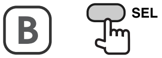
放送局名をリスト表示して、メモリーボタン（1～6）にメモリーされている放送局を受信します。

1 チューナーリストモードにします



ディスプレイに以下の表示がされます。

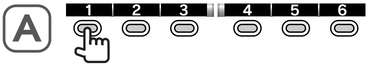
チューナーリストモードを中止するときは…



2 バンドを選びます

「バンド切り替え」（22ページ）を参照してバンドを選びます。

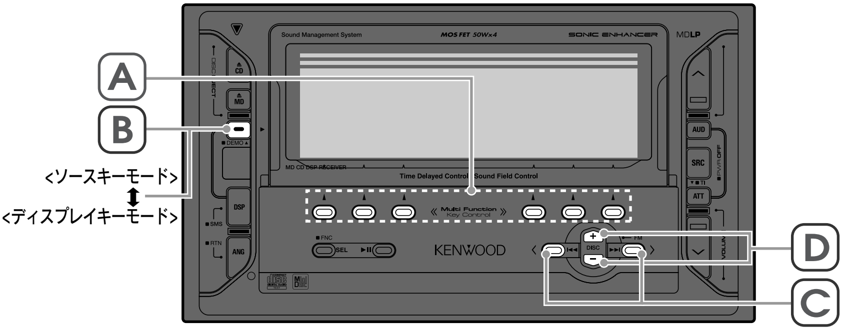
3 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



チューナーリストモードが終了して選択した放送局が呼び出されます。

Multi − は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

Name Set



DNPS（ディスクネームプリセット）/ SNPS（ステーションネームプリセット）

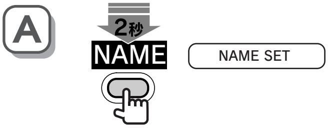
Multi ➖ <ディスプレイキーモード>

CDやFM/AM放送局に名前を付けます。

1 名前を付けるCD/放送局を選びます

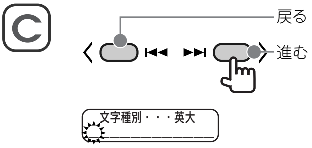
- MDやMP3/WMAのメディアにDNPSを行うことはできません。
- マガジンランダムプレイ中はDNPSは行えません。マガジンランダムプレイ以外を選択しておいてください。
- 交通情報モード中に受信している放送局にも同様の操作で名前を付けることができます。
- KSFモード中にKSFモードネームとして同様の操作で名前を付けることができます。

2 DNPS/SNPSを開始します



“NAME SET”画面に替わるまで押し続けます。

3 文字を入力する位置にカーソルを移動します



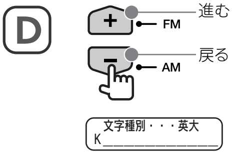
4 文字の種類を選びます

入力する文字種のボタンを押します。

項目	表示
漢字	文字種別・・・漢字 （漢字を選択します）
A-Z	文字種別・・・英大 （英大文字を選択します）
a-z	文字種別・・・英小 （英小文字を選択します）
カナ	文字種別・・・カナ （カタカナを選択します）
かな	文字種別・・・かな （ひらがなを選択します）
1-0	文字種別・・・数記 （数字／記号を選択します）

漢字の入力方法については、「漢字の入力」（28ページ）をご覧ください。

5 文字を選びます

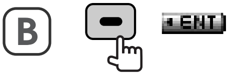


FM/AM放送局や本機内蔵のCDプレーヤーと別売品のCDチェンジャーにセットされているCDに名前を付けて表示させることができます。
また、AUXモードのときに表示される名前を設定できます。

Multi [−] は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

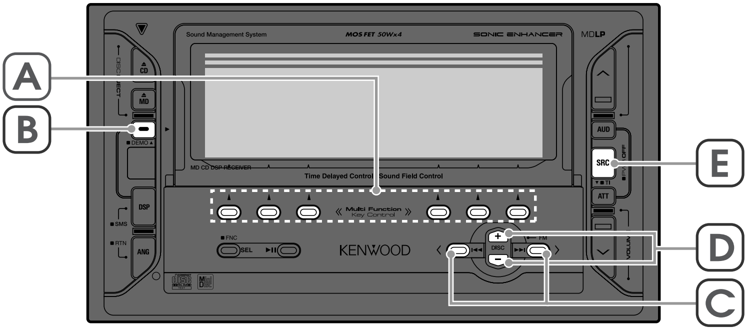
6 3～5を繰り返して、すべての文字を入力します

7 DNPS/SNPSを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点で名前が確定されます。
- 名前は12文字まで登録できます。
- CDはトラック数（曲数）と総録音時間で識別されます。このため、これらが同じCDの場合には識別できません。
- 登録した名前を変更するには、変更したいCDや放送局の名前を表示させたあと、同様の操作で変更できます。
- SNPSで登録できる局数は、FM放送局とAM放送局の合計で30局です。
- DNPSは本機内蔵CDプレーヤーおよび接続している別売品CDチェンジャーの合計で50枚まで登録できます。
- バッテリーから本機を外すとDNPS/SNPSは消去されます。

Name Set



Functional Operation

Name Set

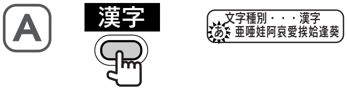
漢字の入力

ディスクネーム/ステーションネームに漢字を入力して表示させることができます。

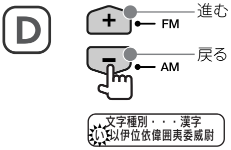
1 DNPS/SNPSを開始します

「DNPS（ディスクネームプリセット）/SNPS（ステーションネームプリセット）」(26ページ）の手順 1 ～ 3 を行います。

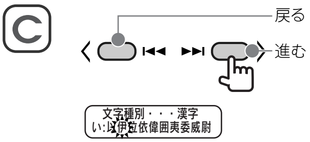
2 漢字入力モードにします



3 漢字の読みを選択します

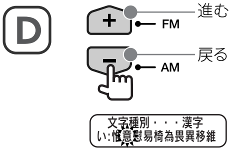


4 入力する漢字を選ぶ



カーソルが読みの位置から漢字の位置に移動します。

漢字列を変えるには....

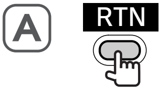


カーソルが漢字の位置にあるときに動かすと、漢字列が変わります。

5 漢字を入力する

カーソルがある位置の漢字が入力され、漢字入力モードが終了します。
さらに漢字を入力する場合は、手順 2 ～5を繰り返します。

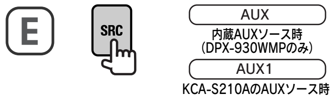
漢字入力を中止するときは…



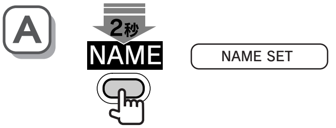
AUXネームセレクト

AUXに切り替えたときの表示を設定します。

1 AUXソースにします

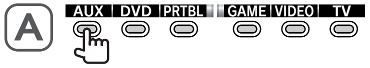


2 AUXネームセレクトを開始します



“NAME SET”画面に替わるまで押し続けます。

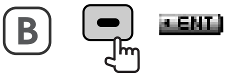
3 AUXネームを選択します



表示したい名前のボタンを押します。

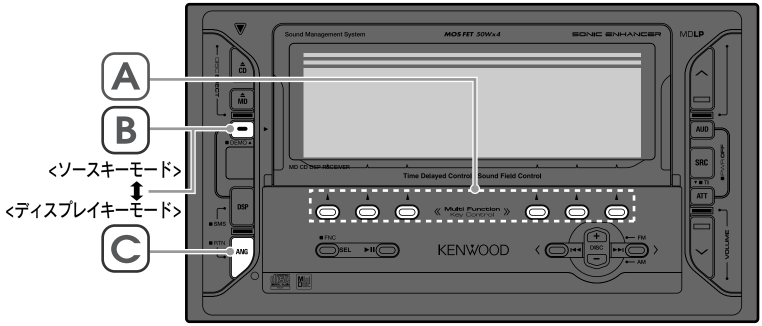
項目	表示
AUX	AUX（エイユーエックス）
DVD	DVD（ディーブイディー）
PRTBL	PORTABLE（ポータブル）
GAME	GAME（ゲーム）
VIDEO	VIDEO（ビデオ）
TV	TV（テレビ）

4 AUXネームセレクトを終了します



- 10秒間以上何も操作しないと、その時点での名前が選択されます。
- CA-C1AXを使用したAUX入力には「AUXネームセレクト」はできません。
- バッテリーから本機を外すと、AUXネームは“AUX”に戻ります。

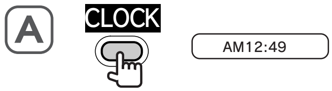
ディスプレイコントロール



時計表示切り替え

Multi [ー] <ディスプレイキーモード>

時計表示をオン/オフします。



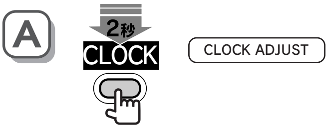
押すたびに、時計表示がオン/オフされます。

時刻合わせ

Multi [ー] <ディスプレイキーモード>

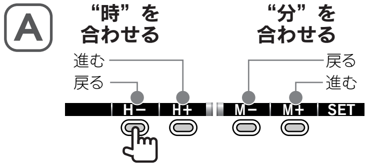
時計表示の時刻を合わせます。

1 時刻合わせを開始します



“CLOCK ADJUST” 画面に替わるまで押し続けます。

2 時刻を合わせます



3 時刻合わせを終了します

00秒からカウントがスタートします。

ディスプレイに表示する情報の設定をします。

Multi [−] は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

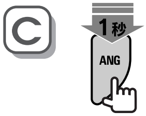
操作パネル角度調節

操作パネルを見やすい角度に調整します。

パネルをスライドします。

押すたびに、操作パネルが１ステップずつ10段階にスライドします。

パネルを元の位置に戻します。

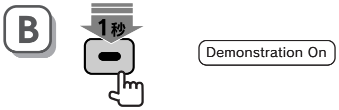


パネルが動き始めるまで押し続けます。

- 電源をオフにするとパネルは数秒後に元の状態に戻ります。再び電源をオンにすると、調節した角度になります。
- パネルスライド中は、FM/AM放送、交通情報の音は出力されません。

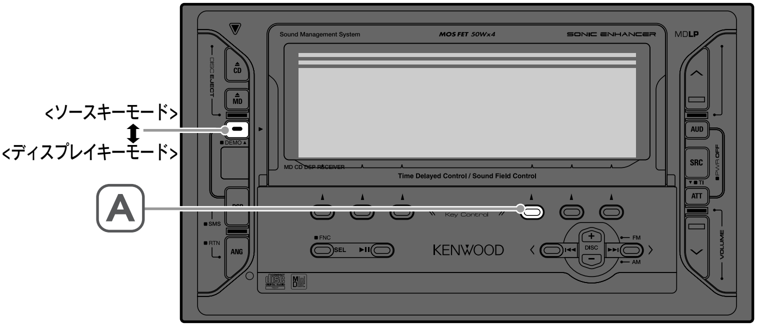
デモンストレーション切り替え

デモンストレーション表示にします。



“Demonstration On”と表示されるまで押し続けます。
１秒以上押すたびに、デモンストレーションがオン/オフします。

ディスプレイコントロール



ディスプレイ表示切り替え

Multi [−] <ディスプレイキーモード>

ディスプレイに表示する情報を切り替えます。

A DISP

押すたびに次の順に切り替わります。

ALL OFFモード時

表示	内容
ALL OFF	グラフィック+ALL OFF
ALL OFF	ALL OFF
	グラフィック

MDプレイ時

表示	内容
P-Time	グラフィック+トラック演奏時間
Disc Title	グラフィック+ディスクタイトル
Group Title*	グラフィック+グループタイトル
Track Title	グラフィック+トラックタイトル
Disc Title Track Title	トラック演奏時間 +ディスクタイトル +トラックタイトル
Group Title Track Title*	トラック演奏時間 +グループタイトル +トラックタイトル
	グラフィック

CDプレイ時

表示	内容
P-Time	グラフィック+トラック演奏時間
A-Time	グラフィック+トータル演奏時間
DNPS*	グラフィック+ディスクネーム
Disc Title*	グラフィック+ディスクタイトル
Track Title*	グラフィック+トラックタイトル
DNPS*	トラック演奏時間 +ディスクネーム
Disc Title Track Title*	トラック演奏時間 +ディスクタイトル +トラックタイトル
	グラフィック

TUNER/交通情報受信時

表示	内容
TUNER	グラフィック+周波数
SNPS	グラフィック+ステーションネーム
SNPS	周波数 +ステーションネーム
	グラフィック

Multi [−] は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

MP3/WMAプレイ時

- P-Time — グラフィック+トラック演奏時間
- Folder Name — グラフィック+フォルダネーム
- File Name — グラフィック+ファイルネーム
- Title — グラフィック+曲名/アーティスト名
- Title / Album — トラック演奏時間 +曲名/アーティスト名 +アルバム名
- Folder Name / File Name — トラック演奏時間 +フォルダネーム +ファイルネーム
- Title / Folder Name — トラック演奏時間 +曲名/アーティスト名 +フォルダネーム
- (空欄) — グラフィック

AUXモード時

- AUX — グラフィック+AUXネーム
- AUX — AUXネーム
- (空欄) — グラフィック

KSFプレイ時

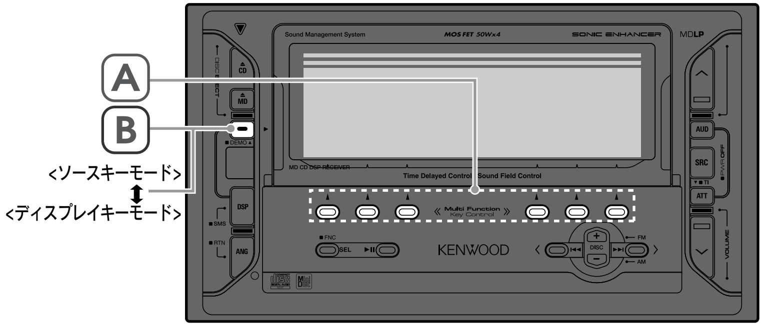
- P-Time — グラフィック+トラック演奏時間
- DNPS — グラフィック+KSFモードネーム
- DNPS — トラック演奏時間 +KSFモードネーム
- (空欄) — グラフィック

TV受信時

- TV — グラフィック+チャンネル表示
- TV — チャンネル表示
- (空欄) — グラフィック

- グラフィックの切り替えかたは、「スペアナ切り替え」（34ページ）、「壁紙の選択」（35ページ）「動画の選択」（36ページ）をご覧ください。
- CDプレイ時の＊の表示は本機内蔵CDとタイトル機能に対応した別売ユニットでプレイ時のみ選択できます。
- MDプレイ時の＊の表示はグループ登録済みMDをプレイ時のみ選択できます。
- WMAファイルをプレイ中は、アルバム名の表示はできません。
- CA-C1AXに入力したAUXソースでは“AUX Mode”表示とグラフィック表示とが切り替わります。

ディスプレイコントロール



スペアナ切り替え

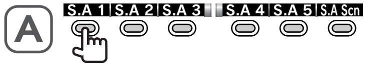
Multi ▬ <ディスプレイキーモード>

グラフィックに表示するスペクトラムアナライザー表示を選択します。

1 スペアナ選択モードにします

ALL OFF中および交通情報受信中は切り替えできません。

2 スペアナを切り替えます

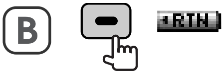


表示したい項目のボタンを押します。

項目	表示
S.A 1	Speana 1（スペアナ1）
S.A 2	Speana 2（スペアナ2）
S.A 3	Speana 3（スペアナ3）
S.A 4	Speana 4（スペアナ4）
S.A 5	Speana 5（スペアナ5）
S.A Scn	Speana Scan（スペアナスキャン）

スペアナスキャンに切り替えると“Speana 1”から“Speana 5”までを次々に表示します。

3 スペアナ選択モードを終了します



Multi [ー] は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

壁紙の選択

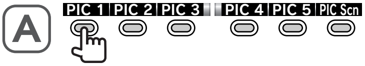
Multi [ー] <ディスプレイキーモード>

グラフィックに表示する壁紙を選択します。

1 壁紙選択モードにします

交通情報受信中は切り替えできません。

2 壁紙を切り替えます

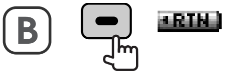


表示したい項目のボタンを押します。

項目	表示
PIC 1	Pic 1（壁紙1）
PIC 2	Pic 2（壁紙2）
PIC 3	Pic 3（壁紙3）
PIC 4	Pic 4（壁紙4）
PIC 5	Pic 5（壁紙5）
PIC Scn	Pic Scan（壁紙スキャン）

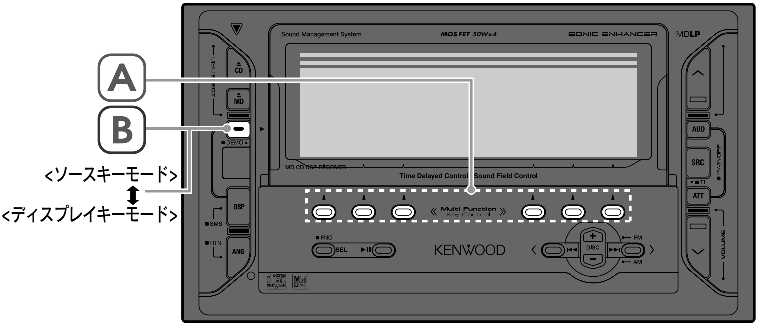
壁紙スキャンに切り替えると“Pic 1”から“Pic 5”までを次々に表示します。

3 壁紙選択モードを終了します



- 5種類の壁紙があらかじめ登録されています。
- DPX-930WMPでは、「画像のダウンロード」（58ページ）でダウンロードすると壁紙（1～5）を替えることができます。

ディスプレイコントロール

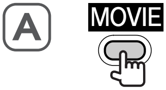


動画の選択

Multi [−] <ディスプレイキーモード>

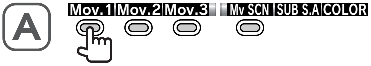
グラフィックに表示する動画を選択します。

1 動画選択モードにします



交通情報受信中は切り替えできません。

2 動画を切り替えます

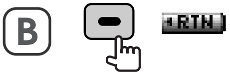


表示したい項目のボタンを押します。

項目	表示
Mov.1	Movie 1（動画1）
Mov.2	Movie 2（動画2）
Mov.3	Movie 3（動画3）DPX-930WMPのみ
Mv SCN	Movie Scan（動画スキャン）

動画スキャンに切り替えると“Movie 1”から“Movie 3”(DPX-930WMP)または、“Movie 1”と“Movie 2”(DPX-730M)を次々に表示します。

3 動画選択モードを終了します



- 3種類(DPX-930WMP)または2種類(DPX-730M)の動画があらかじめ登録されています。
- DPX-930WMPでは、「画像のダウンロード」(58ページ）でダウンロードすると動画3に登録されます。

Multi [ー] は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

サブスペアナ表示の選択

Multi [ー] <ディスプレイキーモード>

表示上部のサブスペアナを選択します。また、バリアブルカラーの色を選択します。

1 動画選択モードにします

A MOVIE

ALL OFF中および交通情報受信中は切り替えできません。

2 サブスペアナを切り替えます

A Mov.1 Mov.2 Mov.3 Mv SCN SUB S.A COLOR

押すたびに以下のように切り替わります。

SUB S.A

- Sub Speana 1 サブスペアナ1
- 〜
- Sub Speana 8 サブスペアナ8
- Sub Speana Off サブスペアナオフ
- Sub Speana Scan サブスペアナスキャン

サブスペアナスキャンに切り替えると“Sub Speana 1”から“Sub Speana Off”を次々に表示します。

サブスペアナの色を好きな色に選択するには…

1.サブスペアナを選択する

手順2を参照して“Sub Speana 1”から“Sub Speana 5”の中から選択します。

2.サブスペアナの色を好きな色に選択する

好きな色が表示されたときにカラースキャンオフに切り替えます。
“Sub Speana 1”から“Sub Speana 5”で表示する色を固定できます。

COLOR

- Color Scan On カラースキャンオン（色が次々に替わるモードです）
- Color Scan Off カラースキャンオフ（選択した色に固定するモードです）

サブスペアナの“Sub Speana 6”から“Sub Speana Off”は表示に合わせて色が替わるため色を固定できません。

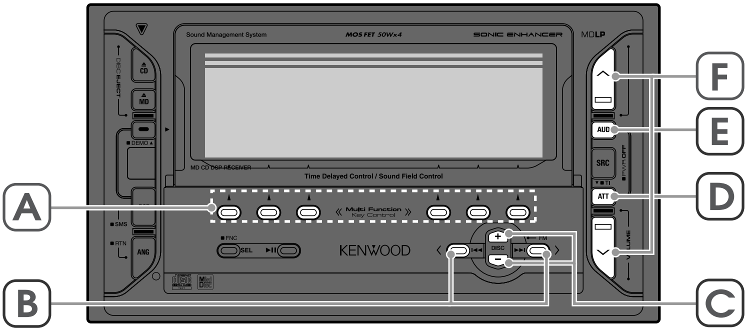
3 動画選択モードを終了します

B [ー] RTN

Functional Operation

ディスプレイコントロール

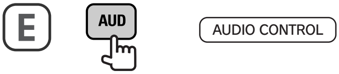
オーディオコントロール



オーディオコントロール

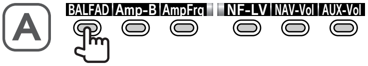
音量バランスなどを設定します。

1 オーディオコントロールモードにします



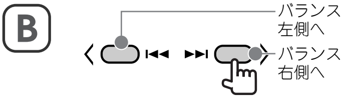
オーディオコントロールはALL OFFモード以外のモード中に設定できます。

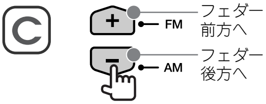
2 設定する項目を選択します



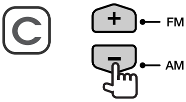
3 設定値を選択します

BALFAD（バランス/フェダー）を調整中





その他の項目を調整中



設定できる項目と値は次のとおりです。

項目	表示	設定値
BALFAD	Balance（左右の音量調整）	R15 ～ **00** ～ L15
	Fader（前後の音量調整）	F15 ～ **00** ～ R15
Amp-B	AMP Bass*（外部アンプのバス調整）	**Flat**/+6/+12/+18
AmpFrq	AMP Freq*（外部アンプの周波数調整）	**Normal**/Low
NF-LV	N-F Level（ノンフェダーの音量調整）	--- ～ **00** ～ +10
NAV-Vol	NAV. Volume*（ナビ割り込み音声の音量調整）DPX-930WMPのみ	10 ～ **15** ～ 25
AUX-Vol	AUX Volume*（AUXの音量調整）DPX-930WMPのみ	**00** ～ +15

（太字は初期設定値）

音量バランスを調整します。
また、交通情報受信時の音量を設定します。

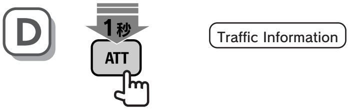
4 オーディオ調整モードを終了します

- ＊マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(80ページ)を参照してください。
- 手順 3 の操作方法以外でも“AMP Bass”と“AMP Freq”の設定値は Amp-B または AmpFrq で設定することができます。
- “AMP Bass”と“AMP Freq”項目で本機からコントロール可能なアンプの機種についてはカタログをご覧ください。
- “N-F Level”は「ファンクションセット」(54ページ）で“Preout”項目が“N-F”のときに調整できます。
- “NAV. Volume”は「ファンクションセット」(54ページ）で“ナビガイド”項目が“INT”のときに調整できます。
- “AUX Volume”はソースモードが内蔵AUXのときに調整できます。(14ページ）

交通情報音量設定

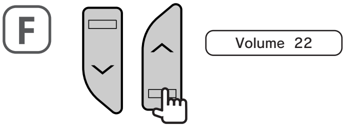
交通情報受信時の音量をメモリーします。

1 交通情報モードにします

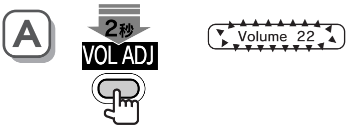


“Traffic Information”と表示されるまで押し続けます。

2 設定したい音量にします

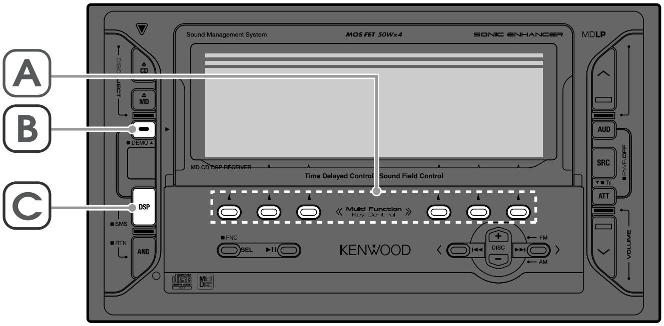


3 音量をメモリーします



音量表示が1回点滅するまで押し続けます。
次回から交通情報モードにすると、自動的にこの設定した音量になります。

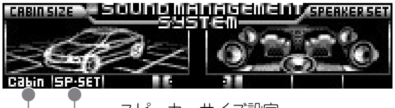
サウンドマネジメントシステム



サウンドマネジメントシステム

「キャビン（車種）の選択」と「スピーカーサイズの選択」を設定することでタイムディレイとクロスオーバーが自動的に設定されますので、簡単に使用環境の補正や設定ができます。

始めにプリアウトを「ファンクションセット」（54ページ）の“Preout”項目で設定してください。



スピーカーサイズ設定
（調整モード：クロスオーバー）

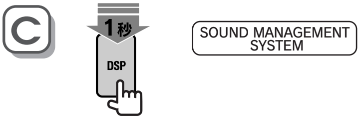
キャビン設定
（調整モード：タイムディレイ）

設定を微調整したい、または自分で設定したい場合は「タイムディレイの調整」（43ページ）や「クロスオーバーの調整」（44ページ）で設定することができます。

サウンドマネジメントモード

キャビン（車種）やスピーカーの大きさを登録します。

1 サウンドマネジメントモードにします



“SOUND MANAGEMENT SYSTEM”と表示されるまで押し続けます。

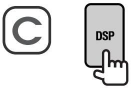
- 「DSPディフィート」（47ページ）で“DSP DEFEAT On”に設定すると、サウンドマネジメントモードは設定できません。
- サウンドマネジメントモードはALL OFF中および交通情報受信中は設定できません。

2 設定したい項目を選びます

項目	内容
Cabin	キャビン設定（41ページ）
SP-SET	スピーカー設定（42ページ）

設定項目は、各項目の説明をご覧ください。

3 サウンドマネジメントモードを終了します

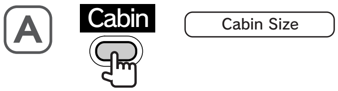


キャビン（車種）やスピーカーサイズを選択することで簡単にタイムディレイとクロスオーバーの設定ができます。
サウンドマネジメントシステムで使用環境を補正することで、DSP効果がより良く発揮されます。また、イコライザーカーブ（KBSカーブ）が自動的に適した設定値に替わります。

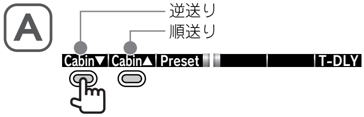
キャビン（車種）の選択

キャビン（車種）を選択することで簡単にタイムディレイを設定して、スピーカー間の距離差を補正できます。

1　キャビン設定モードにします



2　キャビンを設定します

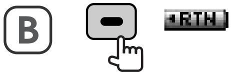


押すたびに次のように切り替わります。

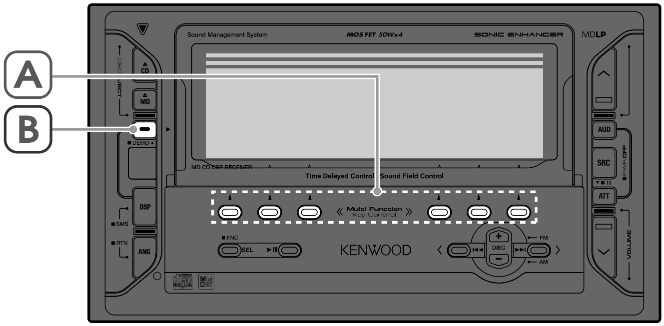
- OFF　スピーカーの位置補正を行いません
- COMPACT　コンパクト車
- SEDAN　セダン車
- WAGON1　ワゴン車1（リアスピーカーが荷室にある場合）
- WAGON2　ワゴン車2（リアスピーカーがリアドアにある場合）
- MINIVAN1　ミニバン車1（リアスピーカーがセカンドシート付近にある場合）
- MINIVAN2　ミニバン車2（リアスピーカーがサードシート付近にある場合）
- SUV　エスユーブイ車
- 1BOX　1ボックス車

「タイムディレイの調整」（43ページ）で設定した場合は“USER”と表示されます。

3　キャビン設定モードを終了します



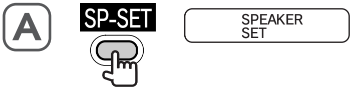
サウンドマネジメントシステム



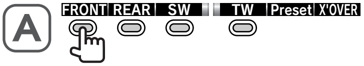
スピーカーサイズの選択

各スピーカーサイズを選択することで簡単にクロスオーバーを設定できます。

1 スピーカー設定モードにします



2 スピーカーを設定します



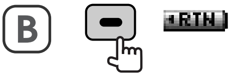
押すたびに次のように切り替わります。

項目	表示	設定値
FRONT	Front SP（フロントスピーカー選択）	**OFF**/OEM/10cm/13cm/16cm/17cm/18cm/10x15/13x18/15x20/16x24/18x25
REAR	Rear SP（リアスピーカー選択）	**OFF**/OEM/10cm/13cm/16cm/17cm/18cm/10x15/13x18/15x20/16x24/18x25
SW	Sub W（サブウーファー選択）	**OFF**/16cm/20cm/25cm/30cm/38cm
TW	TW（ツィーターの選択）	○（ある）/ ✕（ない）

（太字は初期設定値）

- “OFF”は、スピーカー特性の補正を行いません。
- “OEM”は、車両標準で付いている再生帯域の狭いスピーカー用の設定です。
- 「クロスオーバーの調整」（44ページ）で設定した場合は“USER”と表示されます。
- 「ファンクションセット」（54ページ）の“Preout”項目の設定により次のように設定が替わります。
  “N-F”：クロスオーバーを自動設定します。“Sub W”項目が設定できます。
  “Rear”：クロスオーバーは自動設定されません。“Sub W”項目に“✕”と表示され設定できません。

3 スピーカー設定モードを終了します



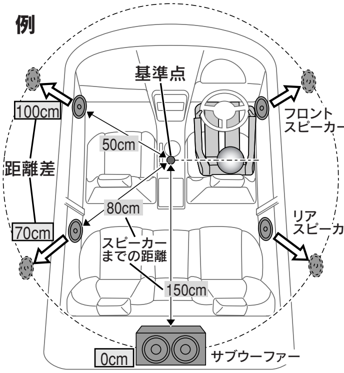
Functional Operation

サウンドマネジメントシステム

タイムディレイの調整

「キャビン（車種）の選択」で自動設定された距離から調整できます。

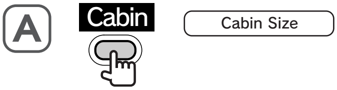
例



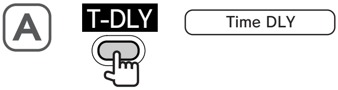
一番遠いスピーカーの距離に合わせて近いスピーカーの距離差（例では四角で囲まれた数字）を設定して、スピーカー間の距離差をなくします。

基準点は、前後と高さをフロントシートに座った人の耳の位置に左右を車室内の中央に設定します。

1 キャビン設定モードにします



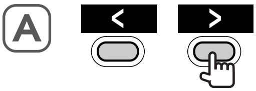
2 タイムディレイモードにします



3 調整する項目を選びます

選択している項目が反転表示されます。

4 スピーカー間の距離差を調整します



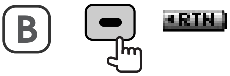
押すたびに次のように切り替わります。

項目	表示	設定値
TDC-F	Front（フロントスピーカーの距離差）	**0** ～ 610cm（5cm間隔）
TDC-R	Rear（リアスピーカーの距離差）	**0** ～ 610cm（5cm間隔）
TDC-NF	N-F（ノンフェダー出力のスピーカーの距離差）	**0** ～ 610cm（5cm間隔）

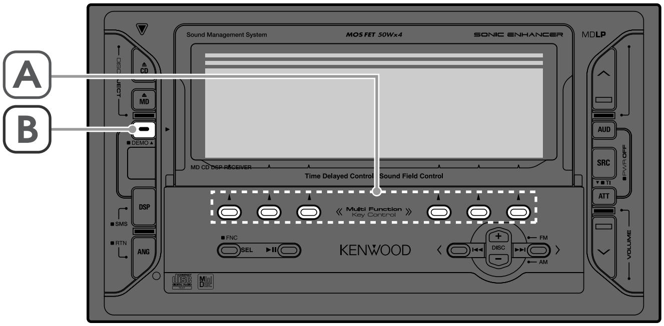
（太字は初期設定値）

“N-F”は「ファンクションセット」(54ページ）で“Preout”項目が“N-F”のときに設定できます。

5 タイムディレイモードを終了します



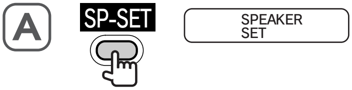
サウンドマネジメントシステム



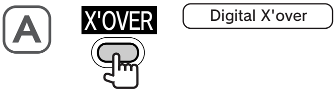
クロスオーバーの調整

「スピーカーサイズの選択」で自動設定された設定値から調整できます。

1 スピーカー設定モードにします

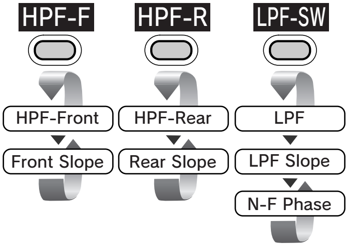


2 クロスオーバーモードにします

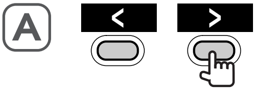


3 調整する項目を選びます

押すたびに次のように切り替わります。



4 クロスオーバーを調整します



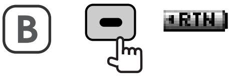
押すたびに次のように切り替わります。

項目	表示	設定値
HPF-F （フロントハイパスフィルター）	HPF-Front （カット周波数選択）	**Through**/30/60/90/120/150/180/250 (Hz)
	Front Slope （スロープ選択）	**12**/18/24
HPF-R （リアハイパスフィルター）	HPF-Rear （カット周波数選択）	**Through**/30/60/90/120/150/180/250 (Hz)
	Rear Slope （スロープ選択）	**12**/18/24
LPF-SW （サブウーファーローパスフィルター）	LPF （カット周波数選択）	60/80/100/120/150/**Through** (Hz)
	LPF Slope （スロープ選択）	**12**/18/24
	N-F Phase （位相選択）	**Normal**/Reverse

（太字は初期設定値）

- “LPF”、“LPF Slope”、“N-F Phase”は「ファンクションセット」（54ページ）で“Preout”項目が“N-F”のときに設定できます。
- 詳しい機能説明は「Help? Word」(80ページ)を参照してください。

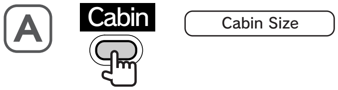
5 クロスオーバーモードを終了します



タイムディレイ設定の登録

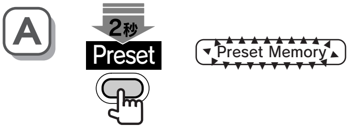
タイムディレイの設定を登録して、簡単に呼び出すことができます。

1 キャビン設定モードにします



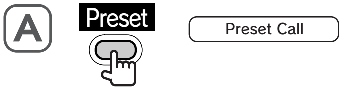
始めに「キャビン（車種）の選択」（41ページ）または「タイムディレイの調整」（43ページ）で各項目を設定します。

2 キャビン設定を登録します



“Preset Memory” 表示が 1 回点滅するまで押し続けます。キャビン設定モードで設定した値が登録されます。

キャビン設定を呼び出すには…

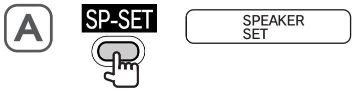


登録した設定値に替わります。

クロスオーバー設定の登録

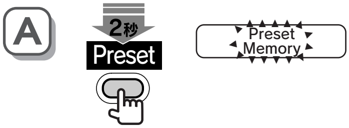
クロスオーバーの設定を登録して、簡単に呼び出すことができます。

1 スピーカー設定モードにします



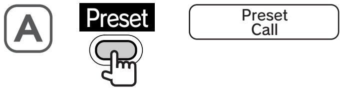
始めに「スピーカーサイズの選択」（42ページ）または「クロスオーバーの調整」（44ページ）で各項目を設定します。

2 スピーカー設定を登録します



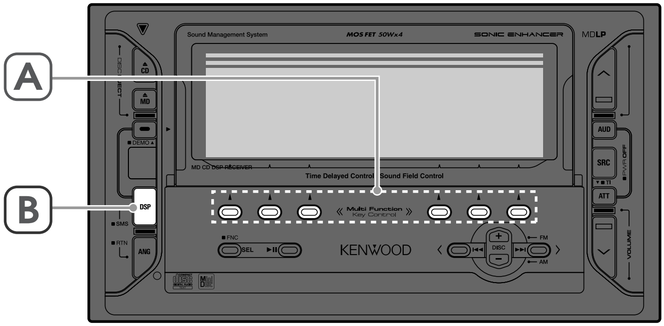
“Preset Memory” 表示が 1 回点滅するまで押し続けます。スピーカー設定モードで設定した値が登録されます。

スピーカー設定を呼び出すには…



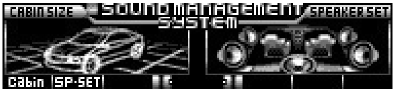
登録した設定値に替わります。

DSP/イコライザーコントロール



DSP/イコライザー機能を使用する前に

始めにキャビン（車種）やスピーカーサイズをサウンドマネジメントシステム（40ページ）に登録します。



サウンドマネジメントシステムで使用環境を補正することでDSP効果がより良く発揮されます。また、イコライザーカーブ（KBSカーブ）とタイムディレイ、クロスオーバーが自動的に適した設定値に替わります。

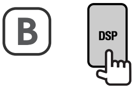
(DPX-930WMPの表示例)

(DPX-730Mの表示例)

DSPコントロールモード

DSPやイコライザーなどを設定するモードです。

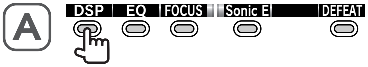
1 DSPコントロールモードにします



DSP CONTROL

DSPコントロールモードはALL OFF中および交通情報受信中は設定できません。

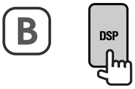
2 調整したい項目を選びます



項目	内容
DSP	DSPを設定する（48ページ）
EQ	イコライザーを設定する（50ページ）
FOCUS	フォーカスを設定する（52ページ）（DPX-930WMPのみ）
Sonic E	ソニックエンハンサーを設定する（52ページ）
DEFEAT	DSPディフィートのオン／オフ（47ページ）

設定方法は、各項目の説明をご覧ください。

3 DSPコントロールモードを終了します



DSP（デジタルシグナルプロセッサー）の設定ができます。
また、イコライザーカーブの設定や調整をします。

DSPディフィート

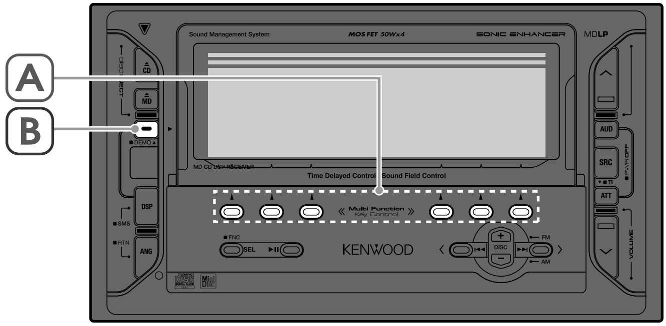
DSP、イコライザー機能やサウンドマネジメントシステムを停止します。DSP回路を通らないので信号経路を短くすることができます。

DSPディフィートをオンにすると、サウンドマネジメントシステムも停止しますので、音量を小さくしてから切り替えてください。特にサブウーファー用にクロスオーバーを設定している場合は、クロスオーバー機能が働かないため、急に音が大きくなることがあります。

DSPディフィートをオフにするには…

もう一度押すとDSP、イコライザー機能やサウンドマネジメントシステムが動作します。

DSP/イコライザーコントロール



DSPの設定

DSPの各効果を設定します。

1 DSP設定モードにします

2 設定する項目と値を選択します

押すたびに次のように切り替わります。

サウンドフィールドコントロール設定（疑似音場効果の呼び出し）

SFC

- BYPASS　バイパス
- STADIUM　スタジアム
- CONCERT　コンサートホール
- LIVE HOUSE　ライブハウス
- THEATER　シアター
- DISCO　ディスコ
- CLUB DISCO　クラブディスコ
- JAZZ CLUB　ジャズクラブ
- STUDIO　スタジオ
- LISTENING　リスニングルーム
- CHURCH　チャーチ

ニュアンス設定（DSP効果のレベル調整）

NUANCE

- Low　DSP効果が小さい
- Mid　（初期設定）
- High　DSP効果が大きい

サウンドフィールドコントロール設定が“BYPASS”の場合は調整できません。

疑似音場効果の設定と調整をします。

バスブースト設定（リア側の低音量の調整）

DBB

- Step1　ブースト域が狭い
- Step2　（初期設定）
- Step3　ブースト域が広い

サウンドフィールドコントロール設定が “BYPASS” の場合は調整できません。

コンプレッション設定（ダイナミックレンジを圧縮して小さな音を聞きやすくする）

COMP

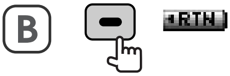
- Off　圧縮しない（初期設定）
- Step1　圧縮レベルが小さい
- Step2
- Step3　圧縮レベルが大きい

ポジション設定（聴く位置を設定してDSP効果を調整）

POSI

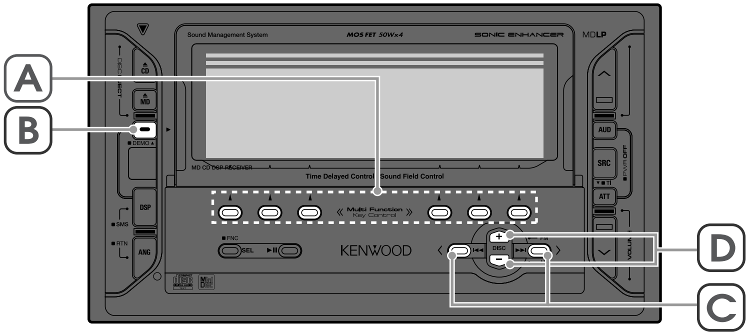
- All　全席（初期設定）
- Front Right　前席右側
- Front Left　前席左側
- Front　前席

3　DSP設定モードを終了します



手順2の操作方法以外でもDSP設定モードを設定することができます。
〈 ⏮ ⏭ 〉で項目の選択、＋ FM －AM で設定値の選択ができます。

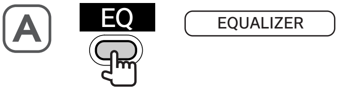
DSP/イコライザーコントロール



イコライザーカーブの選択

使用環境に補正されたイコライザーカーブ（KBSカーブ）を呼び出します。

1 イコライザー設定モードにします



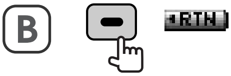
2 イコライザーカーブを選択します

選びたいイコライザーカーブのボタンを押します。

項目	設定
ROCK	ROCK（ロック）
POPS	POPS（ポップス）
DANCE	DANCE（ダンス）
VOCAL	VOCAL（ボーカル）
NAT.	NATURAL（ナチュラル）

「イコライザーカーブの調整」（50ページ）で設定した場合は“USER”と表示されます。

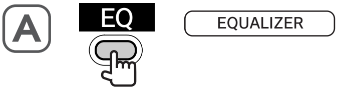
3 イコライザー設定モードを終了します



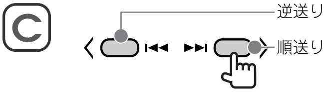
イコライザーカーブの調整

音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。

1 イコライザー設定モードにします

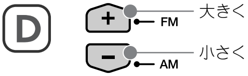


2 調整する周波数を選びます



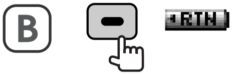
60Hz～16kHz（9ステップ）から選択します。

3 レベルを調整します



-12dB～+12dB（13ステップ）から選択します。

4 イコライザー設定モードを終了します

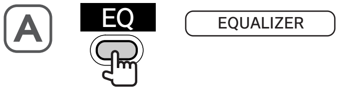


イコライザー（EQ）の設定や調整します。

ユーザーイコライザーの登録

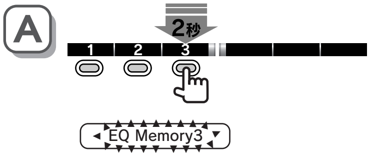
ユーザーイコライザーカーブを３種類まで登録することができます。

1　イコライザー設定モードにします



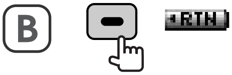
2　ユーザーイコライザーモードにします

3　登録する番号を選びます



“EQ Memory○” 表示が１回点滅するまで押し続けます。

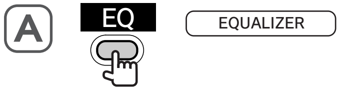
4　ユーザーイコライザーモードを終了します



ユーザーイコライザーの呼び出し

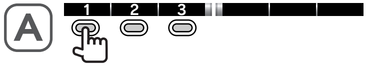
登録したユーザーイコライザーカーブを呼び出します。

1　イコライザー設定モードにします



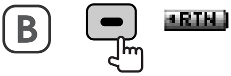
2　ユーザーイコライザーモードにします

3　呼び出す番号を選びます

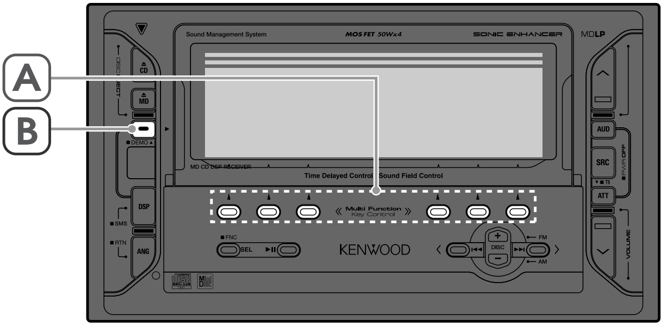


選択した番号が反転表示して、登録したイコライザーカーブに替わります。

4　ユーザーイコライザーモードを終了します



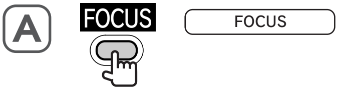
DSP/イコライザーコントロール



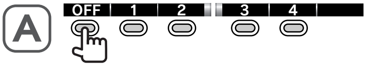
フォーカス（SRS FOCUS）の選択
（DPX-930WMPのみ）

フロントスピーカーの音像を縦方向に移動させるとともに、楽器の音や声をクッキリさせせます。

1 フォーカス設定モードにします



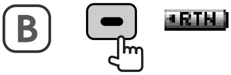
2 フォーカスを選択します



選びたいモードのボタンを押します。

項目	設定
OFF	OFF（フォーカスオフ）
1	MODE1（音像を1段上に移動します）
2	MODE2（音像を1段上に移動してクッキリした音にします）
3	MODE3（音像を2段上に移動します）
4	MODE4（音像を2段上に移動してクッキリした音にします）

3 フォーカス設定モードを終了します

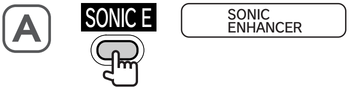


手順2の操作方法以外でも〈 ⏮ ⏭ 〉で設定することができます。

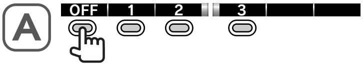
ソニックエンハンサーの選択

圧縮オーディオ（MDやMDLP、MP3、WMA）で失われがちな空間情報を補正します。

1 ソニックエンハンサー設定モードにします



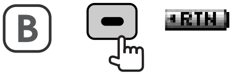
2 ソニックエンハンサーを選択します



選びたいモードのボタンを押します。

項目	設定
OFF	OFF（ソニックエンハンサーオフ）
1	MODE1（ボーカルが自然に浮き出た感じが得られます）
2	MODE2（素直なステージ感ある低音とスッキリとした高音が得られます）
3	MODE3（低音を聴きやすく、全体に広がり感が得られます）

3 ソニックエンハンサー設定モードを終了します

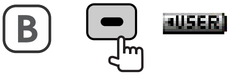


手順2の操作方法以外でも〈 ⏮ ⏭ 〉で設定することができます。

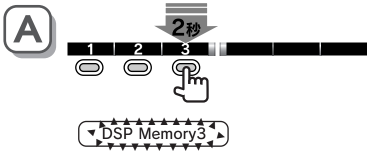
DSPコントロールの登録

DSPコントロールモードで設定した値を３種類まで登録することができます。

1 ユーザーモードにします

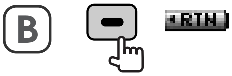


2 登録する番号を選びます



“DSP Memory○” 表示が１回点滅するまで押し続けます。

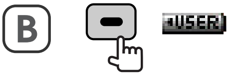
3 ユーザーモードを終了します



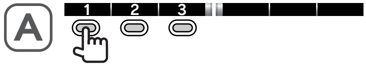
DSPコントロール設定の呼び出し

登録したDSPコントロールの設定値を呼び出します。

1 ユーザーモードにします

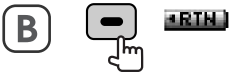


2 呼び出す番号を選びます

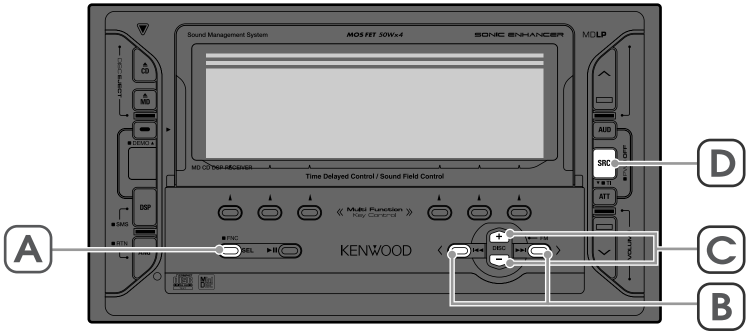


選択した番号が反転表示して、登録したDSPコントロール設定の値に替わります。

3 ユーザーモードを終了します



Function

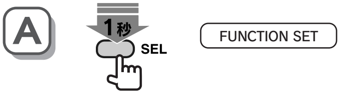


ファンクションセット

操作時のビープ音などの各種の機能を設定します。

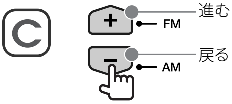
1 設定したい項目があるソースにします

2 ファンクションセットモードにします

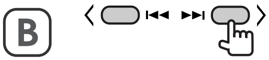


“FUNCTION SET”と表示されるまで押し続けます。

3 設定項目を選択します



4 設定値を選択します



設定できる項目と値は次のとおりです。

CD/MD/MP3/WMA/Changerモード中の設定項目

設定項目	設定値
Scroll* （テキスト表示のスクロール設定）	**Auto**/Manual

（太字は初期設定値）

- MDプレイ時とCD/MP3/WMAプレイ時のそれぞれで設定が可能です。
- チェンジャーなどの別売品のユニットでは、テキスト機能に対応していないと設定できません。

TUNERモード中の設定項目

設定項目	設定値
SEEKモード* （チューニングモード設定）	**Auto 1**/ Auto 2/Manual
MONO設定* （FM放送モノラル受信設定）	On/**Off**
オートメモリースタート？	設定の方法は23ページをご覧ください。

（太字は初期設定値）

- “MONO設定”項目はFM放送を受信時に設定が可能になります。
- FM放送モノラルチューニングをオンにしているときはMONOインジケーターが点灯します。

本機のいろいろな機能を設定します。

ALL OFFモード中の設定項目

設定項目	設定値
BEEP*（ビープ音設定）	**On**/Off
Preout*（プリアウト出力選択）	**Rear**/N-F
MD Group* （MDグループ管理機能設定）	**On**/Off
MD漢字優先表示* （MDタイトルの漢字の優先表示）	**On**/Off
CD漢字優先表示* （CDテキストの漢字の優先表示）	**On**/Off
オープニング表示* （電源オン時のデモンストレーション）	**On**/Off
セキュリティ登録 （セキュリティコードの登録）	登録の方法は56ページをご覧ください。
ナビガイド*（DPX-930WMPのみ） （ナビ音声ガイド時の設定）	**Off**/ATT/INT
NAV.ATT*（DPX-730Mのみ） （ナビ音声ガイド時の設定）	**Off**/On
AUX*（DPX-930WMPのみ） （内蔵AUXソースの切り替え設定）	On/**Off**
内蔵AMP* （内蔵アンプの出力設定）	**On**/Off
S.I 機能* （盗難防止用警告ランプ設定）	On/**Off**
表示データダウンロード* （DPX-930WMPのみ） （画像データのダウンロード）	登録の方法は58ページをご覧ください。
CD読み取りモード* （DPX-930WMPのみ） （CDの読み込み設定）	**1**/2

（太字は初期設定値）

- AUXソースを使用しないときは“AUX”項目を“Off”に設定してください。“On”のまま使用すると雑音が出ることがあります。
- ALL OFFモード中は、ナビ音声ガイドの割り込みはできません。
- “ナビガイド”項目を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドが割り込んだときに、ナビゲーションシステムでKSFを再生していると、ナビゲーションによってはKSFの音声がナビ音声ガイドと一緒に聴こえる場合があります。

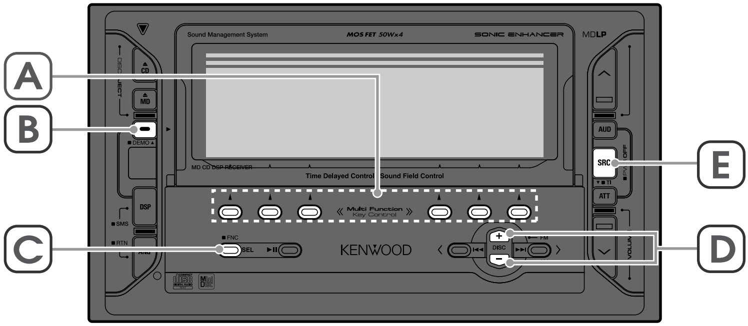
5 ファンクションセットモードを終了します

＊マークが付いた項目の詳しい機能説明は「Help? Word」(80 ページ)を参照してください。

Functional Operation

Function

Function



セキュリティコード

暗証番号を登録することにより盗難を抑制します。

設定したセキュリティコードは変更・削除はできません。また、機能の解除もできません。コードは忘れないようにメモを取るなどしてください。

1 ALL OFFモードにします

E　SRC　ALL OFF

2 ファンクションセットモードにします

C　1秒　SEL　FUNCTION SET

“FUNCTION SET”と表示されるまで押し続けます。

3 セキュリティコード項目を選択します

D　+ FM　− AM　セキュリティ登録

4 セキュリティコード入力を開始します

A　2秒　START　コード登録します ＊＊＊＊

“コード登録します ＊＊＊＊”と表示されるまで押し続けます。

5 セキュリティコードを入力します

A　1 ～ 4

例：3510の場合

ボタン	1	2	3	4
押す回数	4	6	2	1
表示	3	5	1	0

6 セキュリティコードを登録します

A　ENTER　コード登録します ＊＊＊＊　1

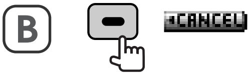
7 セキュリティコードを再入力します

A　1 ～ 4

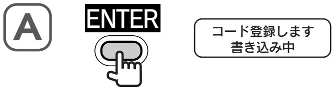
確認のためセキュリティコードを手順5の方法で再度入力します。

セキュリティコードを設定すると、電源コードを外したときなどの次に使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになり、盗難防止の手助けとなります。

コード入力を中止するには…



8 セキュリティコードを確認登録します



セキュリティコードの登録が完了後に、リセットボタンを押したり、本機をバッテリーの接続から外すと、登録したセキュリティコードの入力が必要になります。詳しくは右記をご覧ください。

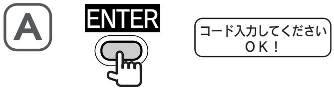
手順５と違うコードを入力すると、手順５の１回目のセキュリティコードの入力に戻ります。

リセットボタンを押したり、本機をバッテリーから外してから最初に使うときは・・・

1 セキュリティコードを入力します

セキュリティコードを手順５の方法で入力します。

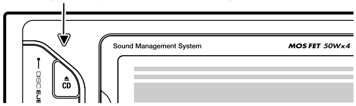
2 セキュリティコードを確定します

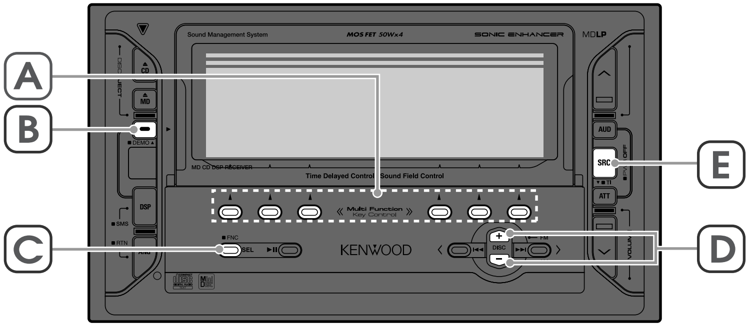


本機が使用可能となります。

- セキュリティコードを登録したときと違うコードで入力すると、“コード入力してください NG!”と表示した後、電源が自動的にオフになります。このようなときは、SRC（SRC）を押して電源をオンにしてから再度セキュリティコードを入力してください。
- 本機はセキュリティコード機能の他にS.I（セキュリティインジケーター）機能を採用しています。「ファンクションセット」（54 ページ）の“S.I機能”項目を“On”にしておくと、ACCをオフにしたときにLEDが点滅し、盗難防止ランプの代用として使用できます。

S.I（セキュリティインジケーター）





画像のダウンロード
(DPX-930WMPのみ)

動画や壁紙を本機にダウンロードして、ディスプレイに表示します。

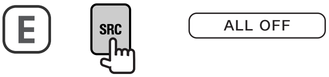
1 CD-R/CD-RWを作成します

画像のダウンロード用のCD-R/ CD-RWの作成方法はホームページ『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧ください。

2 CD-R/CD-RWを挿入します

ダウンロードするファイルの入ったCD-R/ CD-RWをDPX-930WMPに挿入してください。

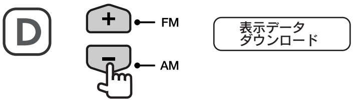
3 ALL OFFモードにします



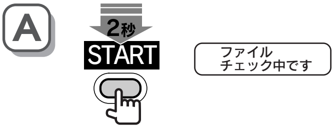
4 ファンクションセットモードにします

“FUNCTION SET”と表示されるまで押し続けます。

5 表示ダウンロード項目を選択します



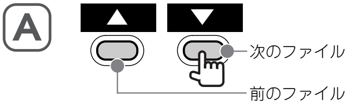
6 画像のダウンロードモードに入ります



“ファイルチェック中です”と表示されるまで押し続けます。

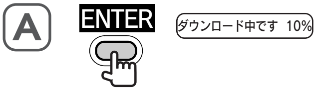
ダウンロードできる画像ファイルが見つからない場合は“ファイルが見つかりません”と表示されます。[−] [OK] ボタンを押すと画像のダウンロードモードが解除されます。

7 ダウンロードしたい画像ファイルを選択します



ファイル名をスクロールするには…

8 画像のダウンロードを開始します



ダウンロードが終了すると、“ダウンロード完了です”と表示されます。

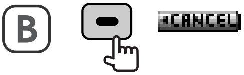
DPX-930WMPでは動画や壁紙をダウンロードすることができます。

DPX-930WMPにダウンロードできるファイルや、CD-R/CD-RWの作成方法は『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧ください。

- “ダウンロード中です”と表示されている間は、ダウンロード中止以外の操作や、エンジンの始動・切断などはしないでください。
- 画像のダウンロードには最大で30分程度の時間がかかります。

ダウンロード中にダウンロードを中止するには

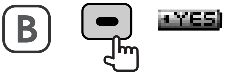
1. キャンセルします。



中止するかを確認するために“ダウンロードを中止しますか？”というメッセージが表示されます。

2. ダウンロードを中止するか続行するかを選びます。

中止するときは・・・

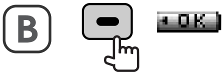


“ダウンロードを中止しました”というメッセージが表示されたら、もう一度 OK ボタンを押します。

続行するときは・・・

ダウンロードを続行します。

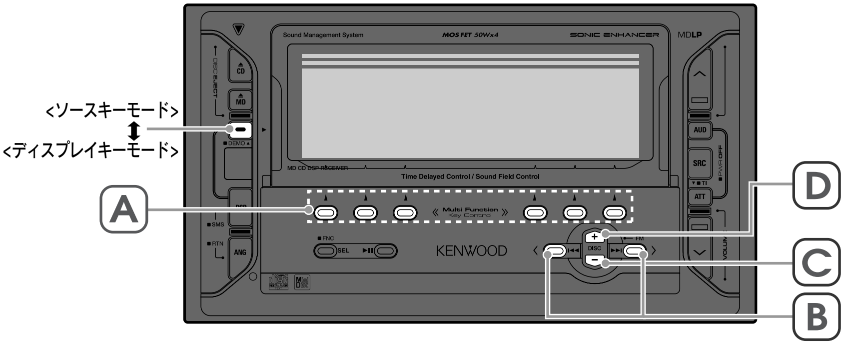
9 画像の登録を終了します



ファンクションセットモードを終了するときは、 SEL ボタンを押します。

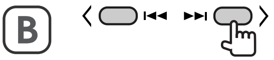
- ダウンロードできる画像は、“動画”と“壁紙”とも各1ファイルです。新しい画像をダウンロードすると、今までの画像が書き替えられます。
  なお、初期設定の画像に戻したいときは、ホームページ『http://www.kenwood.net-disp.com』より、初期設定時の画像をダウンロードしてください。
- ダウンロードした画像を表示させるには「壁紙の選択」（35ページ）、「動画の選択」（36ページ）を参照してください。

TV コントロール



チャンネル選択

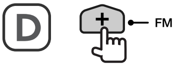
受信するTV放送を選びます。



動作は接続している別売品のTVモニターの設定によって異なります。
詳しくは、TVモニターの取扱説明書を参照してください。

バンド／ビデオ切り替え

ＴＶのバンドとビデオ入力を切り替えます。



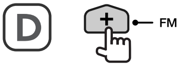
押すたびにTVバンドとビデオ入力が切り替わります。

プリセットコール

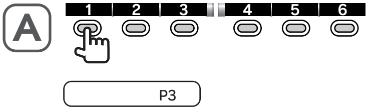
Multi ― <ソースキーモード>

ＴＶのプリセットチャンネルにメモリーされているチャンネルを選びます。

1 バンドを選択します



2 メモリーボタン（1～6のいずれか）を選びます



押したボタンの番号がメモリーナンバーに表示され、メモリーされているチャンネルが呼び出されます。

オプション

別売品のLX-BUS TVモニター“f-LZ77”などが接続されているときに、本機からコントロールすることもできます。

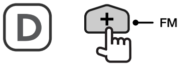
Multi − は、マルチファンクションキーシステムを使用している機能です。はじめにHelp? Multi Key（79ページ）をご覧ください。

マニュアルメモリー

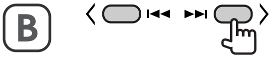
Multi − <ソースキーモード>

受信中のTV放送局をメモリーします。

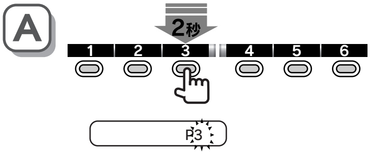
1 バンドを選択します



2 メモリーする放送局を選択します



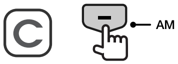
3 メモリーするボタン（1～6のいずれか）を選びます



ボタンナンバー表示が１回点滅するまで押し続けます。

音声多重切り替え

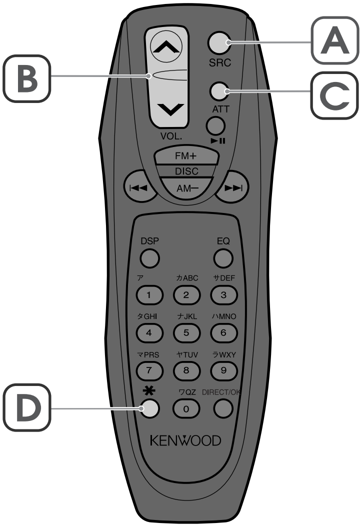
音声多重のメイン音声とサブ音声を切り替えます。



オプション

リモートコントロール（DPX-930WMPのみ付属）

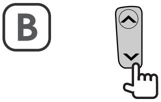
各モード共通



ソース切り替え

プレイするソースを切り替えます。

音量調節



音量を調節します。

アッテネーター

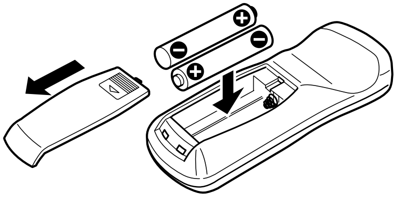
ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。

角度調節

操作パネルの角度を調節します。

電池の入れかた

付属の電池（単三型２本）を＋／－の向きを正しく合わせて入れてください。



操作できる距離が短くなったり、なかなか動作しない場合は、乾電池が消耗していることが考えられます。このような場合は、２個とも新しい乾電池と交換してください。新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用すると、液漏れなどによる故障の原因になります。

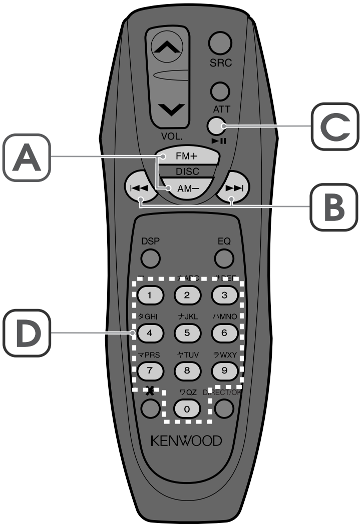
注意

- リモコンは、ブレーキ操作などによって動かない場所においてください。ペダルの下などに落ちると、運転操作に支障をきたして危険です。
- 電池を充電、ショート、分解、加熱したり、火の中に入れたりしないでください。液漏れを起こす危険があります。液漏れを起こし、目に入ったり、皮膚や衣類に付着したときは、すぐに水で洗い流し、すぐに医師に相談してください。
  また、電池は子供の手の届かないところに置き、万一飲み込んだときは、すぐに医師に相談してください。

本機に使用するリモコンについて

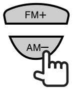
本機に使用できるリモコンは、カタログをご覧になるか、購入店にお問い合わせください。
なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSF モード



ディスクサーチ/フォルダサーチ/グループサーチ

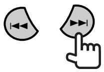
A



プレイするディスク／フォルダ／グループを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のディスクをダイレクトサーチします。

トラックサーチ／ファイルサーチ

B



プレイする曲／ファイルを選択します。
また、テンキーに続けて押すと、指定した番号のトラック／ファイルをダイレクトサーチします。

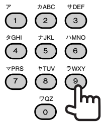
プレイ／ポーズ

C

プレイを一時停止します。
もう一度押すと、プレイを再開します。

テンキー

D



テンキーに続けてディスクサーチまたはトラックサーチキーを押すと、ダイレクトサーチできます。

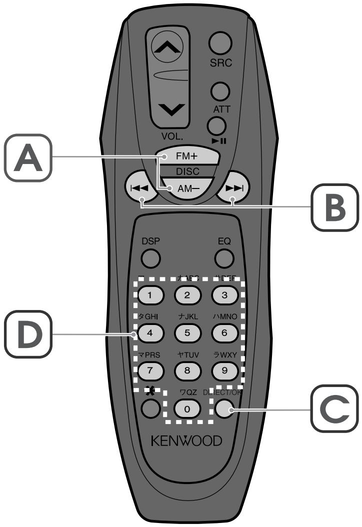
MP3/WMAファイルをプレイ時はテンキーに続けてファイルサーチキーを押すとプレイ中のフォルダ内のファイルをダイレクトサーチできます。

グループ管理機能を使ってMDをプレイ中はテンキーに続けてトラックサーチキー押すと、プレイ中のグループ内のトラックをダイレクトサーチできます。

KSFをプレイ時は、ダイレクトサーチできません。

リモートコントロール（DPX-930WMPのみ付属）

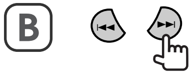
TUNER モード



バンド切り替え

受信するバンドを切り替えます。

選曲



受信する放送局を切り替えます。

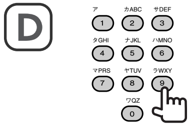
ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。

例：76.1MHz(FM)の場合（3 桁）
7 6 1

例：0522kHz(AM)の場合（4 桁）
0 5 2 2

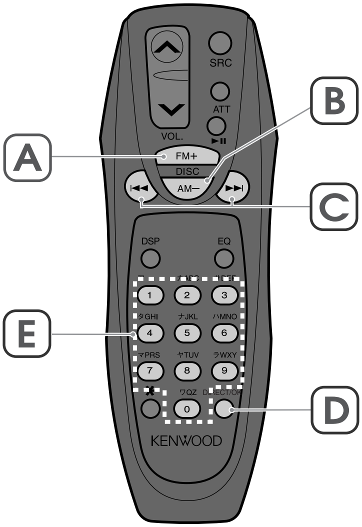
テンキー



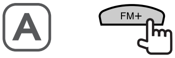
メモリーされている放送局の番号を選択します。（1 ～ 6）

ダイレクトチューニングキーに続けて、受信するFM/AM放送局の周波数の数字を指定します。

TV モード



バンド／ビデオ切り替え

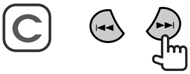


受信するTVバンドの放送局とビデオ入力を切り替えます。

音声多重切り替え

メイン音声／サブ音声を切り替えます。

チャンネル選択

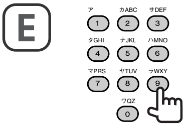


受信するチャンネルを選択します。

ダイレクトチューニング

このボタンに続けて、受信する放送局をテンキーで指定します。
例：3chの場合（2 桁）
(0)(3)

テンキー

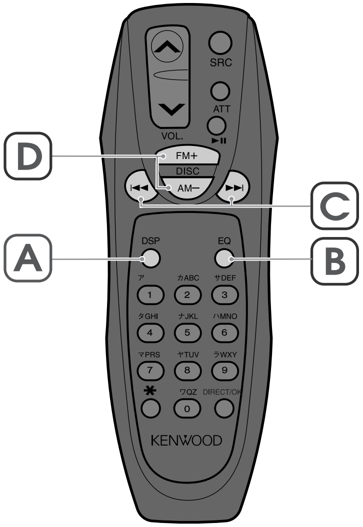


メモリーされている放送局の番号を選択します。（(1) ～ (6) ）

ダイレクトチューニングキーに続けて、受信する放送局のチャンネルを指定します。

リモートコントロール（DPX-930WMPのみ付属）

DSP/イコライザーコントロール



DSPの設定

A

DSP設定モードがオン／オフします。

イコライザーカーブ

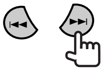
B

イコライザー設定モードにします。また、イコライザー設定モード中はイコライザーカーブを選択します。

１秒以上押すとイコライザー設定モードが終了します。

項目／周波数選択

C

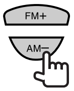


DSP設定モード中は、設定項目を選択します。

イコライザー設定モード中は、周波数を選択します。

設定値／レベル選択

D

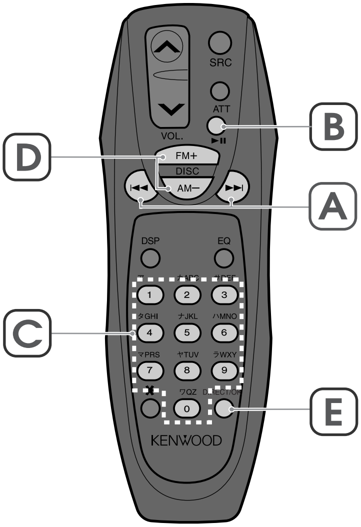


DSP設定モード中は、設定値を選択します。

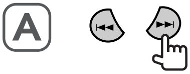
イコライザー設定モード中は、レベルを選択します。

- ALL OFF中や交通情報受信中、DSPディフィートオン中はDSP/イコライザーの設定はできません。
- 設定できる項目は、DSP設定モードは48ページ、イコライザー設定モードは50ページをご覧ください。

DNPS（ディスクネームプリセット）/ SNPS（ステーションネームプリセット）



カーソル

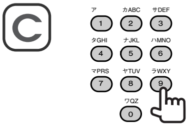


カーソルを文字を入力する位置に移動します。

文字種切り替え

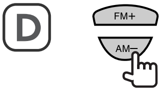
入力する文字の種類（英大文字/英小文字/数字・記号/かな/カタカナ）を切り替えます。

テンキー



文字を入力します。
例：「コ」を入力する場合（カタカナ）
2（9回押す）
例：「h」を入力する場合（英小文字）
4（2回押す）

文字選択



文字を順に切り替えます。

終了

登録が完了します。

SNPS/DNPSを開始するには、本体のボタンで操作します。詳しい操作方法は26ページを参照してください。

Help ? Operation

電源がオンにならない

原因	処置
●ヒューズが切れている。	●コード類がショートしていないことを確認した後、同じ容量のヒューズと交換してください。
●入出力ケーブル、電源コード、パワーコントロールコードなどの接続が間違っている。	●「システム配線」(89ページ)、「電源ハーネスの接続」(90ページ)を参照して正しく接続し直してください。

音が出ない/音が小さい

原因	処置
●フェダー、バランスが片方に寄っている。	●フェダーやバランスを正しく調整してください。(38ページ)
●「ファンクションセット」の“内蔵AMP”項目が“Off”に設定されている。	●「ファンクションセット」(54ページ)の“内蔵AMP”項目を“On”に設定してください。

操作スイッチを押しても動作しない

原因	処置
●操作パネルがスライドしている。	●操作パネルを閉じてください。
●内蔵のマイコンが誤動作している。	●リセットボタンを押してください。(8ページ)

音質が悪い(音がひずむ)

原因	処置
●音量が大きすぎる。	●音量を適正に調整してください。
●スピーカーコードが車両側のネジにかみ込んでいる。	●スピーカーの配線を確認してください。
●スピーカーの配線が間違っている。	●スピーカー出力端子をそれぞれのスピーカーと正しく接続してください。

チューナーの感度が悪い

原因	処置
●自動車のアンテナが伸びていない。	●アンテナを十分に伸ばしてください。
●アンテナコントロール電源が接続されていない。	●「電源ハーネスの接続」(90ページ)を参照して正しく接続し直してください。
●アンテナ入力がきちんと接続されていない。	●アンテナ入力を確実に接続してください。

SRCボタンを押しても、望むソースに切り替わらない

原因	処置
●それぞれのソースを聴くのに必要な別売品のユニットが接続されていない。	●接続されていないソースには切り替わりません。「システム配線」(89ページ)を見て正しく接続してください。
●別売品ユニットを接続後にリセットボタンが押されていない。	●リセットボタンを押してください。(8ページ)
●別売品ユニットのO-NスイッチをO側にしている。	●O-NスイッチはN側に設定してください。
●本機が対応していないディスクチェンジャーを使用している。	●対応モデルのディスクチェンジャーをお使いください。(8ページ)

CD/MD/Changer mode

SRCボタンを押してもディスクに切り替わらない

原因	対処
ディスクが入っていない。	プレイするディスクを入れてください。

ディスクが入らない

原因	対処
すでにディスクが入っている。	入っているディスクを取り出してから入れてください。

MDが引き込まれない

原因	対処
MDを入れる方向が間違っている、または裏返しになっている。	正しい方向で入れてください。

ディスクのプレイ中に振動で音飛びする

原因	対処
●取り付け角度が30°を超えている。	●30°以下になるように取り付けし直してください。
●取り付けが不安定になっている。	●しっかりと取り付け直してください。なお、駐停車中でも音飛びする場合や同じ場所で音飛びする場合はディスクに原因があります。

CDをプレイできない

原因	対処
●CDが裏返しである。	●レーベル面を上にして入れ直してください。
●CDが異常に汚れている。	●「CDとMDの取り扱い」(10ページ)を見て、CDをクリーニングしてください。
●結露している。	●しばらく放置してから使用してください。(8ページ)
●CDが内部的に検出されていない。	●リセットボタンを押してCDを取り出してから、再度CDを挿入してください。(8ページ)

MDをプレイできない

原因	対処
結露している。	しばらく放置してから使用してください。(8ページ)

CD-R、CD-RWがプレイできない

原因	対処
●ファイナライズ処理を行っていない。	●CDレコーダーでファイナライズ処理を行ってください。ファイナライズ処理については、お使いのCD-R/CD-RWライティングソフトやCD-R/CD-RWレコーダーの説明書をご覧ください。
●CD-R/CD-RWに未対応のCDチェンジャーでプレイしている。	●CD-R/CD-RW未対応のCDチェンジャーではプレイできません。

ディスクを取り出せない

原因	対処
車両のACCスイッチをオフにしてから10分以上経過したため。	ACCスイッチをオフにしてからディスクを取り出せるのは10分以内です。10分以上経過した場合は、再度ACCをオンにしてからイジェクトボタンを押してください。

CD/MD/Changer mode

CDがイジェクトできない

原因	対処
ディスクがイジェクト途中で止まっている。	CD EJECTボタンをCDがイジェクトするまで押し続けてください。

選曲操作をしても、目的の曲に切り替わらない

原因	対処
ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

同じ曲を繰り返しプレイするだけで、次の曲に進まない

原因	対処
トラックリピートプレイがオンになっている。	リピートプレイをオフにしてください。(18ページ)

曲の先頭しかプレイされない

原因	対処
スキャンプレイがオンになっている。	スキャンプレイをオフにしてください。(16ページ)

チェンジャー内の同じディスクだけしかプレイされない

原因	対処
ディスクリピートプレイがオンになっている。	リピートプレイをオフにしてください。(18ページ)

曲が順にプレイされない

原因	対処
ランダムプレイがオンになっている。	ランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

ディスクが順に演奏されない

原因	対処
マガジンランダムプレイがオンになっている。	マガジンランダムプレイをオフにしてください。(17ページ)

マガジンランダムプレイができない

原因	対処
ディスクが1枚しか入っていない。	ディスクを2枚以上挿入してください。

トラックサーチできない

原因	対処
チェンジャー内のディスクをプレイ中に最初のトラックで前の曲へ、最後のトラックで先の曲へトラックサーチしようとしている。	ディスクリピート中などを除き、最初のトラックから最後のトラックへ、最後のトラックから最初のトラックへはトラックサーチできません。

リピートプレイ、スキャンプレイ、ランダムプレイがオフされない

原因	対処
ディスクを取り出さない限り、各機能は電源をオフにしても自動的にオフされません。	各機能をボタンでオフにするか、ディスクをイジェクトしてください。

ALL OFFモードにするとCDが1曲目の演奏に戻る

原因	対処
「ファンクションセット」の“CD漢字優先表示”、“CD読み取りモード”項目を変更した。	“CD漢字優先表示”、“CD読み取りモード”項目の設定を行うと1曲目の演奏に戻ります。(54ページ)

ALL OFFモードにするとMDが１曲目の演奏に戻る

「ファンクションセット」の“MD漢字優先表示”項目を変更した。

“MD漢字優先表示”項目の設定を行うと１曲目の演奏に戻ります。（54ページ）

文字がスクロールされない

- 表示部にすべての情報文字が表示されている。
- ディスクネームを表示しているため。

- 表示部に情報文字がすべて表示されている場合はオートスクロールされません。
- スクロール表示されるのはディスク/トラックタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名、アルバム名およびグループネームです。

CDテキストが表示されない

- 使用しているディスクチャンジャーが1997年以前に発売のディスクチェンジャーで、“O-Nスイッチ”がない。
- 使用しているディスクチェンジャーの“O-Nスイッチ”を“O”にしている。

- 1998年以降に発売のディスクチェンジャーを使用してください。
- ディスクチェンジャーに“O-Nスイッチ”が付いている場合は、“O-Nスイッチ”を“N”にしてください。

MD Group

MDグループ機能が働かない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定しているため、ディスクタイトルとグループタイトルとがすべて表示されている。

「ファンクションセット」（54ページ）の“MD Group”項目を“On”に設定してください。

グループ登録済みMDが登録した順番どおりにプレイされない

- グループ機能を搭載していない編集機などで編集を行った。
- グループタイトルに“//”が付いている。

- グループ機能を搭載した編集機などで、グループを登録しなおしてください。
- グループ情報が正しく認識できないため、グループタイトルに“//”は付けないでください。

ディスクタイトルが正しく表示されない

「ファンクションセット」の“MD Group”項目を“Off”に設定している。

“MD Group”項目を“Off”に設定時はグループ情報が表示されます。

ディスクタイトルが表示できない

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されている。

ディスクタイトルとグループタイトルとが異なる種類の文字で登録されているMDでは、ディスクタイトルが表示できないことがあります。グループ機能を搭載した編集機などでディスクタイトルを登録し直してください。

MD Group

聴きたい曲が選択できない

原因	対処
グループに登録されていない。	聴きたい曲を何らかのグループに登録するか、「ファンクションセット」（54ページ）の“MD Group”項目を“Off”に設定してください。

MDのプレイが1曲目に戻る

原因	対処
「ファンクションセット」の“MD Group”項目の設定を行った。	MDをプレイ中に「ファンクションセット」（54ページ）の“MD Group”の設定を行うとMDのプレイが1曲目に戻ります。

MP3/WMA (DPX-930WMPのみ)

MP3/WMAファイルがプレイできない

原因	対処
●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。 ●MP3/WMAファイルに拡張子が付いてない。 ●「ファンクションセット」の“CD読み取りモード”項目を“2”に設定している。 ●ディスクに傷や汚れがある。	●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。（76ページ） ●MP3ファイルには“.MP3”を、WMAファイルには“.WMA”を付けてください。 ●「ファンクションセット」（54ページ）の“CD読み取りモード”を“1”に設定してください。 ●「CDとMDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ中に音飛びする

原因	対処
ディスクに傷や汚れがある。	「CDとMDの取り扱い」（10ページ）を見て、ディスクをクリーニングしてください。

MP3/WMAファイルをプレイ時に雑音が入る/音が出なくなる

原因	対処
MP3/WMAファイル以外のファイルに“.MP3”または“.WMA”拡張子が付いている。	MP3/WMAファイル以外のファイルに付いている“.MP3”または“.WMA”拡張子を消去してください。

フォルダネーム/ファイルネームが正しく表示されない

原因	対処
●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠して記録されていない。 ●ライティングソフトで扱えない文字を使用して記録した。	●ISO9660 level1/2, Joliet, またはRomeoに準拠したディスクを使用してください。（76ページ） ●ライティングソフトの取扱説明書を参照して使用できる文字で記録してください。

演奏時間表示が実際の演奏時間と一致しない

原因	対処
MP3/WMAファイルの記録された状況により、演奏時間が一致しないことがあります。	—

MP3/WMAファイルをプレイするまで時間がかかる

ディスクに記録されているフォルダ/ファイル/階層が多い。

最初にメディア内のすべてのファイルをチェックするため、多くのファイルが記録されているメディアを使用すると、プレイされるまで長時間かかる場合があります。

MP3/WMAファイルが順番どおりにプレイされない

プレイさせたい順番どおりにライティングソフトで書き込まれなかったため。

ライティングソフトにより異なりますが、ファイル名の頭に“00”～“99”などと入力してから書き込むことで順番を設定できる場合もあります。

ID3 Tag情報が正しく表示されない

ID3 tagがv1.xに準拠して記録されていない。

ID3 tagをv1.xに準拠して記録してください。

CD-RWに記録したMP3/WMAファイルがプレイされない

CD-RWのフォーマットを簡易フォーマットで行ったため。

CD-RWをフォーマットするときは、フルフォーマットで行ってください。

ファイルサーチできない

最初の曲で前の曲へ、最後の曲で先の曲へファイルサーチしようとしている。

フォルダリピート中などを除き、最初の曲から最後の曲へ、最後の曲から最初の曲へはファイルサーチできません。

Function

セキュリティコード項目が表示されない

すでにセキュリティコードを設定してある。

セキュリティコードを一度設定すると変更はできません。このため、ファンクションセット項目から削除されます。

セキュリティコードを忘れた

セキュリティコードを調べることはできません。

ケンウッドサービスセンターにご相談ください。

画像のダウンロードができない（DPX-930WMPのみ）

CD-R/CD-RWの作成方法に原因があることがあります。

『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧になり、CD-R/CD-RWを作成し直してください。

Name Set

DNPSができない

症状	対処
●MDをプレイしている。	●MDにDNPSはできません。
●マガジンランダムプレイがオンになっている。	●マガジンランダムプレイをオフにしてください。
●MP3/WMAファイルをプレイしている。	●MP3/WMAが収録されたメディアにDNPSはできません。

登録したはずのステーションネームが消えた

症状	対処
●31局目のステーションネームを登録した。	●登録できるステーションネームは30局分です。
●本機をバッテリーから外したため。	●本機をバッテリーから外すとステーションネームは消去されます。

登録したはずのディスクネームが消えた

症状	対処
●51枚目のディスクネームを登録した。	●登録できるディスクネームは本機のCDプレーヤーとCDチェンジャーを合わせて50枚分です。
●本機をバッテリーから外したため。	●本機をバッテリーから外すとディスクネームは消去されます。

登録したはずのAUXネームが“AUX”に戻る

症状	対処
本機をバッテリーから外したため。	本機をバッテリーから外すとAUXネームは“AUX”に戻ります。

ディスクネームがまちがって表示される

症状	対処
総録音時間とトラック数が同じディスクがすでに登録されている。	識別する方法はありません。

“No Disc”と表示される

症状	対処
マガジンにディスクが入っていない。	ディスクを入れてください。

オーディオコントロール

N-F Level項目が表示されない

症状	対処
ファンクションセットの“Preout”項目が“Rear”に設定されている。	「ファンクションセット」(54ページ)の“Preout”項目を“N-F”に設定してください。

NAV. Volume項目が表示されない(DPX-930WMPのみ)

症状	対処
ファンクションセットの“ナビガイド”項目が“Off”、“ATT”に設定されている。	「ファンクションセット」(54ページ)の“ナビガイド”項目を“INT”に設定してください。

AUX Volume項目が表示されない(DPX-930WMPのみ)

症状	対処
内蔵AUXソースを選択していない。	「ファンクションセット」(54ページ)の“AUX”項目を“On”に設定して、内蔵のAUXソースに切り替えた後にオーディオコントロールにしてください。

サウンドマネジメントシステム/DSP/イコライザーコントロール

サウンドマネジメントモード、DSP/イコライザーコントロールモードにならない

原因	対処
DSPディフィートをオンにしている。	「DSPディフィート」（47ページ）をオフにしてください。

DSP効果が得られない

原因	対処
● 2スピーカーシステムになっている。	● 4スピーカーシステムにしてください。
● フロントスピーカーとリアスピーカー、あるいは右スピーカーと左スピーカーが逆に接続されている。 ● スピーカーの極性が逆に接続されている。	●「電源ハーネスの接続」（90ページ）を参照して正しく接続し直してください。
● フェダーまたはバランスの調整が片側に片寄っている。	●「オーディオコントロール」（38ページ）を参照して、フェダーやバランスを中央に調整してください。
● DSPディフィートをオンにしている。	●「DSPディフィート」（47ページ）をオフにしてください。

ニュアンス、バスブーストが調整できない

原因	対処
サウンドフィールドコントロール設定が“BYPASS”に設定されている。	サウンドフィールドコントロール設定を“BYPASS”以外に設定してください。（48ページ）

イコライザーを調整しても効果が現れない

原因	対処
1つの周波数だけを調整している。	調整した周波数の周囲の周波数も調整してください。

N-F/SW/LPF項目が表示されない

原因	対処
ファンクションセットの“Preout”項目が“Rear”に設定されている。	「ファンクションセット」（54ページ）の“Preout”項目を“N-F”に設定してください。

設定したはずのクロスオーバー設定が初期設定値に戻る

原因	対処
ファンクションセットの“Preout”項目を変更した。	「ファンクションセット」（54ページ）の“Preout”項目を“Rear”に切り替えるとクロスオーバーは初期設定値に戻ります。

ポジション設定が“All”に戻る

原因	対処
サウンドマネジメントシステムの「キャビンの選択」または「タイムディレイの調整」を変更した。	「キャビン（車種）の選択」（41ページ）または「タイムディレイの調整」（43ページ）を変更するとポジション設定は“All”（初期設定値）に戻ります。

Help ? MP3/WMA （DPX-930WMPのみ）

DPX-930WMPは、MP3/WMAファイルをプレイすることができますが、使用できるMP3/WMAファイルを記録したメディアやフォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。
以下に記載されている制限文字数はいずれも1 byte文字を使用した場合の文字数です。

使用できるメディア

使用できるMP3/WMAを収録するためのメディアはCD-ROM、CD-R、およびCD-RWです。

プレイできるMP3フォーマット

本機でプレイできるMP3ファイルは、MPEG 1 Audio Layer 3, MPEG 2 Audio LSP Layer 3, MPEG 2.5規格のものです。

- サンプリング周波数
  ：8,11.025,12,16,22.05,24,32,44.1,48（kHz）
- ビットレート：8 〜 320（kbps）

プレイできるWMAフォーマット

本機でプレイできるWMAファイルは以下のフォーマットのものです。

- Windows Media™ Audio 準拠
- サンプリング周波数：44.1, 48, 32（kHz）
- ビットレート：48 〜 192 (kbps)

Windows Media™ Player 9以上の一部の機能を使用すると正常にプレイできない場合があります。
詳しい対応フォーマットに関する情報は、下記URLをご覧ください。
URL:http://www.kenwood.com/j/products/car_audio/q_and_a.html
また、コピープロテクト（著作権保護）されたファイルはプレイできません。

使用できるディスクのフォーマット

本機で使用できるディスクは、以下のフォーマットです。フォーマット名の後ろの文字数は、ファイル名に付けられる最大文字数（区切り文字“.”と拡張子3文字を含む）です。

- **ISO 9660 Level 1：12文字**
- **ISO 9660 Level 2：31文字**
- **Joliet：64文字**
- **Romeo：128文字**

なお、**ロングファイル名**形式で書き込んだ場合は、200文字まで表示が可能です。
使用できる文字はライティングソフトの説明書および下記「ファイル名とフォルダ名の入力」を参照してください。

ただし、本機で再生できるディスクには以下の制限があります。

- **最大ディレクトリ階層：8階層**
- **1フォルダ中の最大ファイル数：255**
- **最大フォルダ数：100**
- **最大フォルダ名：64文字**

前記のフォーマット以外で書き込まれたMP3/WMAファイルは、正常にプレイされなかったり、ファイル名やフォルダ名などが正しく表示されない場合があります。

圧縮ソフトとライティングソフトの設定

MP3/WMAファイルに圧縮するときは、圧縮ソフトの転送ビットレートの設定は“128kbps”の“固定”を推奨します。
何も記録されていないメディアに一度で最大容量まで記録する場合は、“Disc at Once”の設定をしてください。

ファイル名とフォルダ名の入力

ファイル名とフォルダ名は、半角英数文字、カナ文字または日本語で入力してください。これ以外の文字で入力されているファイル名とフォルダ名は正常に表示されません。また、ライティングソフトや使用するディスクのフォーマットによって表示できる文字が制限されます。詳しくはライティングソフトの説明書をご覧ください。
また、MP3/WMAファイルと認識されてプレイされるファイルは、“.MP3”または“.WMA”の拡張子が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けて保存してください。

禁 止

MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生をしてしまい、大きな雑音が出てスピーカーなどを破損する恐れがあります。
MP3/WMA以外のファイルに、“.MP3”または“.WMA”拡張子を付けないようにしてください。

ID3/WMA Tagについて

本機で表示できるID3 Tagは、ID3 Tag v1.x規格で記録された曲名、アーティスト名、およびアルバム名です。また、表示できる文字種は英数文字、カタカナ、日本語（シフトJIS）です。
ID3 Tagで表示できるのは、曲名、アーティスト名およびアルバム名の30文字までです。
また、WMA Tagで表示できるのは、曲名およびアーティスト名の30文字までです。

メディアに書き込むファイルについて

MP3/WMAが収録されているメディアを挿入すると、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。
このため、プレイするメディアに多くのフォルダやMP3/WMA以外のファイルを書き込むと、プレイするまで長時間必要になります。
また、次のMP3/WMAファイルのプレイに移るまで時間がかかったり、ファイルサーチやフォルダサーチがスムーズに行えない場合があります。

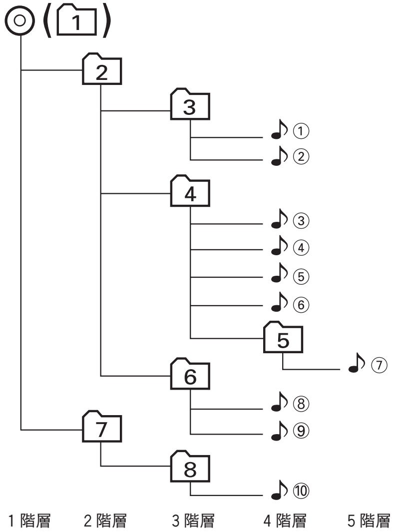
MP3/WMAファイルをプレイする順番

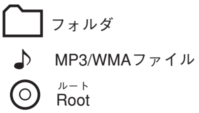
プレイ、フォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトでファイルやフォルダが選択される順番は、ライティングソフトで書き込まれた順番になります。このため、プレイされると予想していた順番と実際にプレイされる順番が一致しないことがあります。

ライティングソフトにもよりますが、“01”～“99”などとファイル名の頭にプレイする順番を入力してからCD-Rなどに書き込むことで、プレイする順番を設定できることがあります。

以下のようなフォルダ・ファイル階層のメディアでフォルダサーチ、ファイルサーチ、およびフォルダセレクトを行った場合は次のようになります。

メディアの階層例





♪④ 再生中にファイルサーチを行うと・・・・

押すボタン / プレイ中のファイルNo.	〈 ⏮	⏭ 〉
♪④	♪④の最初 ➡ ♪③	♪⑤ ➡ ♪⑥

♪④ 再生中にフォルダサーチを行うと・・・・

押すボタン / 現在のフォルダNo.	– AM	+ FM
4	3 ➡ 2 ➡ 1 ➡ 8 •••	5 ➡ 6 ➡ 7 ➡ 8 ➡ 1 •••

♪④ 再生中にフォルダセレクトを行うと・・・・

ボタン操作 / 現在のフォルダNo.	＜	＞	▲	▼
4	3	6	2	5

音楽などの著作物を個人的に楽しむなどの場合を除き、著作権利者の許諾を得ずに複製（録音）、配布、配信することは著作権法で禁止されています。

Help

Help ? MD Group

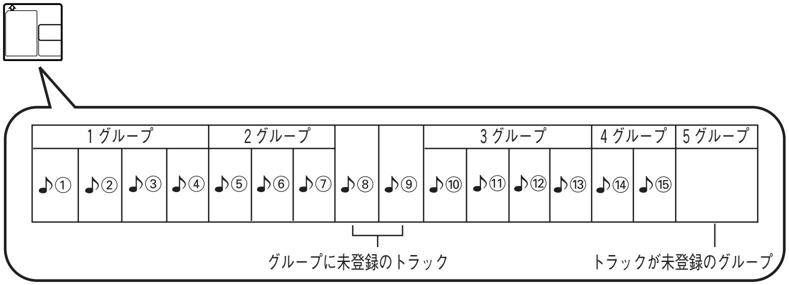
本機では、グループ化されたMD（グループ登録済みMD）からグループを選んで、聴きたい曲をすばやく選べるグループ管理機能を搭載しています。
（MDの作成方法はグループ機能を搭載した編集機などの取扱説明書をご覧ください）

最大再生可能グループ数

本機で再生できるグループ数は50番目までです。51番目以降に登録されているグループは再生できません。

グループ登録された曲を再生する順番

以下のようなグループで作成されたディスクでトラックサーチ、グループサーチ、およびグループセレクトを行った場合は次のようになります。なお、グループ管理機能は「ファンクションセット」（54ページ）の“MD Group”項目を“On”に設定しているときに使用できます。



♪　トラック

- グループ管理機能を“On”に設定していると、グループに登録していないトラックは再生されません。グループ管理機能を“Off”に設定するとすべての曲を聴くことができます。
- トラックが登録されていないグループは、グループサーチやグループセレクトでは選択できません。

♪⑥ 再生中にトラックサーチを行うと・・・・

ボタン操作 / 現在のトラックNo.	〈 ⏮	⏭ 〉
♪⑥	♪⑥の先頭 ➧♪⑤ ➧♪④	♪⑦ ➧♪⑩ ➧♪⑪ •••

♪⑩ 再生中にグループサーチを行うと・・・・

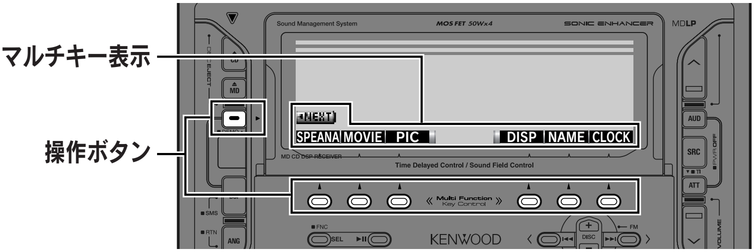
ボタン操作 / 現在のグループNo.	− AM	+ FM
3グループ	2グループ ➧1グループ •••	4グループ ➧1グループ

グループセレクトを行うと・・・・

ボタン操作 / 現在のグループNo.	▼	▲
3グループ	4グループ	2グループ ➧1グループ

グループセレクトを行うと1グループから表示が始まります。

マルチファンクションキーコントロールとは、7個のボタンに割りあてられる機能が操作モードごとに切り替わるシステムです。
通常の音楽を聴いている状態では、ソースキーモードとディスプレイキーモードがあります。
本書では、Multi <ソースキーモード>またはMulti <ディスプレイキーモード>と記載されている機能はボタンを押して対応のキーモードにしてから操作を行います。



<ディスプレイキーモード>中の機能

ディスプレイコントロール（30～37ページ）とName Set（26～29ページ）の機能を使うことができます。

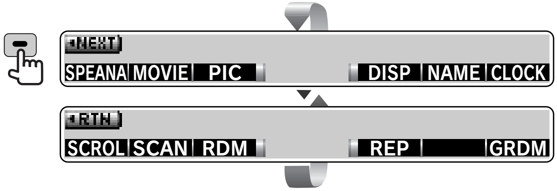
<ソースキーモード>中の機能

CD/MD/MP3/WMA/Changer/KSFモード（16～21ページ）、TUNERモード（22～25ページ）およびTVモード（60～61ページ）など、音楽ソース別の機能を使うことができます。

AUX中や交通情報受信中などモードが切り替わらないときは、ボタンのマルチキー表示は表示されません。

【ソースキーモードの操作例】MDをプレイ中にスキャンプレイをするときは…

1．<ソースキーモード>にします

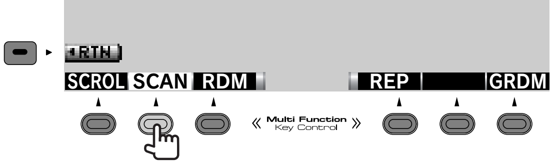


<ディスプレイキーモード>

<ソースキーモード>

<ソースキーモード>になっている場合は、手順2へ進みます。

2．スキャンプレイをオン/オフします



押すたびにスキャンプレイがオン/オフします。

詳しいスキャンプレイの操作方法については「スキャンプレイ」（16ページ）を参照してください。

AMP Bass
（アンプ バス コントロール）
EXT.CONT.コードで接続した別売品のB.M.S機能搭載パワーアンプの、低音域の増幅量をこの機能でコントロールできます。
変更される値や変更時のアンプ側の動作はアンプにより異なります。詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。
B.M.S機能搭載アンプについては、カタログをご覧ください。

AMP Freq
（アンプ フリケンシィ）
「AMP Bass」で設定した低音増幅の中心周波数を調整する機能です。
“Low”に設定すると、周波数が20～30%低くなります。
詳しくは接続しているパワーアンプに付属の取扱説明書をご覧ください。

AUX
（エーユーエックス）
ビデオなどの外部機器の出力を入力する機能です。
ファンクションセットで、ソース選択時に内蔵AUXソースも含めて切り替えるか設定ができます。AUX入力を使用していないときは、“Off”に設定しておけば、AUXソースに切り替わらないので、スムーズなソース切り替えができます。

AUX Volume
（エーユーエックス ボリューム）
外部入力する音量がCDなどソースの音量より小さい場合、この機能で音量差を減らすことができます。

BEEP
（操作確認音）
ボタンを押したときに、押されたことが確認できるように“ピッ”音がする機能です。押してすぐ離したときには“ピッ”と鳴り、1秒以上または2秒以上押して機能をオンにしたときには“ピッピッ”と鳴ります。うるさく感じたときには“Off”に設定することにより消すことができます。
なお、BEEP音はプリアウトからは出力されません。

CD読み取りモード
特殊なフォーマットのCDをプレイ時に、正常にプレイができない場合に“2”を設定すると強制的にCDをプレイすることができる機能です。なお、“2”に設定しても、音楽CDによってはプレイできない場合があります。また、“2”に設定するとMP3/WMAのプレイはできなくなります。通常は“1”でお使いください。
1：MP3/WMAディスクと音楽CDを自動認識して再生します。
2：音楽CDとして強制的にプレイします。

CD漢字優先表示/MD漢字優先表示
CDテキストやMDタイトルなどが漢字およびカタカナまたはローマ字で記録されているディスクを聴いているときに、これらを漢字で表示するか、カタカナまたはローマ字で表示するかの設定ができます。
On：漢字で表示（漢字が登録されていない場合は、カタカナまたはローマ字で表示）
Off：カタカナまたはローマ字で表示

Digital X'over HPF-Front/HPF-Rear
（デジタル クロス オーバー･フロント ハイ パス フィルター設定/リア ハイ パス フィルター設定）
サブウファーを追加するとき、この機能を使って高・中音用のスピーカーから低音を削除することができます。
設定した周波数より低い音域をカットします。
“Through”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

Digital X'over Front Slope/Rear Slope
（デジタル クロス オーバー･フロント スロープ設定/リア スロープ設定）
Digital X'over HPF-Front/HPF-Rearで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
1オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。
スピーカーに応じたスロープ設定により、特に超低域をカットすることにより、音にならない不要な振動を抑制できます。

Digital X'over LPF
(デジタル クロス オーバー･ロー パス フィルター設定)
ノンフェダー出力から高音を削除することができます。ノンフェダー出力をサブウーファー用として使用するときに、この機能で低域のみの音にすることができます。
設定した周波数より高い音域をカットします。これにより効率の良い低域再生が可能となります。“Through”に設定すると、この機能を無効にすることができます。

Digital X'over LPF Slope
(デジタル クロス オーバー･ロー パス フィルター スロープ設定)
Digital X'over LPFで設定した帯域の音をカットするときの減衰量を設定する機能です。
１オクターブあたりの減衰量をdBで設定します。

Digital X'over N-F Phase
(デジタル クロス オーバー･ノンフェダー位相設定)
ノンフェダー出力の位相を反転する機能です。
フロント出力やリア出力とノンフェダー出力の位相が合っていないと音量が小さくなります。この機能で位相を合わせせることで、音量が小さくなるのを防ぐことができます。

DSP (Digital Signal Processor)
(デジタル シグナル プロセッサー)
音楽信号をデジタル処理することです。これにより、反射音や残響音などの音響効果を作り、擬似的にコンサートホールなどの音場空間を作り出します。また、イコライザー機能やクロスオーバー機能として音質を調整できます。

FOCUS (SRS FOCUS)
米国SRS社のフォーカス技術により、フロントスピーカーの音像の位置を縦方向に動かすとともに、楽器の音や声をクッキリとさせることができる機能です。
ドアに取り付けられたスピーカーでは足下で鳴っているように聞こえますが、この機能を使うことで目の前で鳴っているような感覚にすることができます。

LX-BUS TVモニター
(エルエックス バス テレビモニター)
外部接続された別売品のTVモニター（f-LZ77など）やナビゲーションシステム（HDX-700）です。

MD Group
(エムディ グループ)
この機能をオンにしておくと、グループ登録済みMDを再生中に、グループサーチ、グループリピートプレイ、グループランダムプレイ、およびグループセレクトのMDグループ機能を使うことができます。
このとき、グループに未登録の曲は再生されませんので、何らかのグループに登録するか、この機能をオフにしてください。
MDグループ機能については「Help? MD Group」（78ページ）もご覧ください。

MDLP
(エムディー エルピー)
MDの記録方式の規格です。本機ではMDLP2モードとMDLP4モードで録音されたMDをプレイできます。

MP3
(エムピイスリー)
正式名「MPEG Audio Layer 3」の略称です。MPEG AudioはDVDやVideo CDなどに使用されている画像圧縮方法のオーディオ部分のみの圧縮規格です。
本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。
使用できるMP3収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」（76ページ）をご覧ください。

MONO設定
(モノラル設定)
この機能でFMステレオ放送をモノラル音声にすることができます。受信状態の悪いFM放送局を聴いているときに、音声をモノラルにすると雑音が軽減されて聞き易くなるときがあります。

NAV. Volume
(ナビ ボリューム)
ナビ音声案内時のナビ音声案内の音量を設定することができる機能です。

NAV.ATT
(ナビ アッテネーター)
カーナビゲーションシステムを接続すると、カーナビゲーションの音声案内時に、一時オーディオの音を小さくすることができます。

Preout
（プリアウト）

リアプリアウトを、オーディオコントロールのフェダー調整に影響されない出力（ノンフェダー出力“N-F”）に切り替えることができます。フェダー調整に影響されないのでサブウーファー用の出力に活用できます。

Scroll
（スクロール）

ディスプレイにディスク/トラックタイトル、グループタイトル、ディスク/トラックテキスト、フォルダネーム、曲名/アーティスト名またはアルバム名を選択しているとき、文字数が多いため表示しきれない場合にスクロールして表示する機能です。

この機能を“Auto”に設定しておくとスクロール表示を繰り返し行い、“Manual”に設定しておくと表示が変わったときだけ1回スクロール表示するようにできます。

SEEKモード
（チューニング モード）

放送局の探し方を設定することができます。

Auto 1：放送局を自動的に見つけ出します。

Auto 2：メモリーされている放送局を順番に受信します。

Manual：1ステップずつ周波数が変わります。

SONIC ENHANCER
（ソニック エンハンサー）

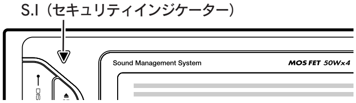
通常の音楽ソースに対して圧縮オーディオ（MDやMDLP、MP3、WMA）では空間情報などが失われます。この機能で失われた空間情報を補正します。

SOUND MANAGEMENT SYSTEM
（サウンド マネジメント システム）

キャビン（車種）とスピーカーサイズを選択することで簡単に使用環境（イコライザーカーブ(KBSカーブ)、タイムディレイ、クロスオーバー）を補正や設定ができます。これらの設定を管理する機能です。

S.I機能
（セキュリティ インジケーター機能）

この機能をオンにしておくと、ACCをOFFにしたときにLEDが点滅し、盗難防止警告ランプの代用として使用できます。



WMA
（Windows Media™ Audio）

米国マイクロソフト社が開発した音声圧縮符号化方式「Windows Media™ Audio」の略称です。

本書ではこの方式を使用したオーディオファイルを指す場合もあります。

使用できるWMA収録メディアの種類やフォーマットなどは「Help? MP3/WMA」（76ページ）をご覧ください。

オープニング表示

電源をオンにしたときの、デモンストレーション表示の有無を設定できます。

セキュリティコード

セキュリティコードを設定しておくと、本機の電源コードを外したときやリセットボタンを押したときなどの、次に初めて使うときは、設定したセキュリティコードを入力しないと電源がオンできないようになります。すなわち、本機を車両から外したときは、セキュリティコードの入力が必要になるため、盗難防止の手助けとなります。

タイムディレイ

フロント、リア、ノンフェダー（サブウーファー）から出力される音を遅延させることにより、スピーカーの位置を擬似的にずらすことができる機能です。車種やスピーカー取り付け位置にとらわれずに最適な効果が得られます。

ディスクチェンジャー

外部接続された別売品のCDチェンジャー（KDC-C520, KDC-C510, KDC-C406など）、マルチメディアプレーヤー（VD-C77）です。

ナビガイド

カーナビゲーションの音声ガイド時の本機の動作を設定することができます。この機能を使用する場合は、本機とナビゲーションシステムのラインミュート端子またはミュート端子を接続してください。

ATT： ナビ音声ガイド時は、オーディオの音を小さくします。

INT： ナビ音声ガイドをフロントスピーカーから出力します。

この機能を“INT”に設定して、ナビ音声ガイドの割り込みをする場合は、「システム配線」（89ページ）を参照して、AUX入力にナビゲーションシステムを接続してください。

ケンウッド製カーナビゲーションシステムを接続してこの機能を使用する場合は、ナビゲーションシステムの「オーディオATT」機能をオンに設定してください。また、2001年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムを接続している場合は「音声割り込み」機能もオンに設定してください。

なお、この機能は1997年以前に発売のケンウッド製ナビゲーションシステムやケンウッド製以外のカーナビゲーションで使用すると正常に動作しない場合があります。

表示データダウンロード

動画や壁紙（静止画）をCD-R/CD-RWからDPX-930WMPにダウンロードしてディスプレイに表示することができる機能です。

ダウンロードできるファイルやCD-R/CD-RWの作成方法は『http://www.kenwood.net-disp.com』をご覧ください。

内蔵AMP

（内蔵アンプ出力設定）

フロントスピーカー、リアスピーカーともプリアウト端子にパワーアンプを接続してシステムを組んでいるようなときは、この機能を“Off”に設定することにより、内蔵アンプの稼働を停止させることができます。

内蔵アンプの稼働を停止させると、プリアウトからの音声出力のクォリティをアップさせることができます。

無効な操作を以下のように表示してお知らせします。

Error 04：●ディスクが異常に汚れている。
●ディスクに傷が多く付いている。
●ディスクが裏返しになっている。

Error 05：ディスクが裏返しになっている。

Error 12：演奏しようとしたMDがデータ用MDです。

Eject：●ディスクマガジンがセットされていない。
●ディスクマガジンが完全に入っていない。
など

No Disc：ディスクマガジンにディスクが1枚も入っていない。

No Name：●ステーションネームプリセットされていない放送局を受信中に、放送局名表示にしようとした。
●ディスクネームプリセットされていないディスクを演奏中に、ディスク名表示にしようとした。

No Title：タイトルが記録されていないMDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル/グループタイトル表示にしようとした。

No Text：● CDテキストが記録されていないCDを演奏中に、ディスクタイトルやトラックタイトル表示にしようとした。
●曲名、アルバム名またはアーティスト名がないMP3/WMAファイルを再生中に、それぞれの表示にしようとした。

No Track：演奏しようとしたMDに何も録音されていない。

Blank Disc：演奏しようとしたMDにデータが1つも記録されていない。

パネルを閉めてください：
操作パネルを開いているときに、操作できないボタンを押した。
➡パネルを閉めてから操作してください。

Unsupported File：
サポートされていないMP3/WMAフォーマットのファイルをプレイしようとした。

Copy Protection：
コピープロテクトされているWMAファイルをプレイしようとした。

システムの状態を以下のように表示してお知らせします。

Error 77　：何らかの原因で正常に動作していない。
➡本機のリセットボタンを押してください。“Error 77”の表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

H-Hold　：本機のMDプレーヤーやディスクチェンジャーの内部温度が60℃以上になると保護回路が働き、動作しなくなることがあります。このときこの表示が出ます。
➡本機またはディスクチェンジャーの取り付け場所の温度を下げてから使用してください。

Mecha Error：●ディスクマガジンに異常がある。
➡ディスクマガジンを取り出して、ディスクマガジン内を確認してください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡イジェクトボタンを押してください。イジェクトボタンを押しても表示が消えないときは本機のリセットボタンを押してください。なお、表示が消えない場合、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

インジケーターが点滅
：CDプレーヤーが正常に動作していない。
➡CDを取り出してから、CDを入れなおしてください。

インジケーターが点滅
：MDプレーヤーが正常に動作していない。
➡MDを取り出してから、MDを入れなおしてください。

Loading (点滅)：ディスクチェンジャー内のディスクを交換中です。

File Check　：ディスクに収録されているデータのチェック中です。

画像のダウンロード中の異常を以下のように表示してお知らせします。（DPX-930WMPのみ）

ダウンロード失敗：
●ファイルのダウンロード中に読み込みを失敗した。
➡再度ダウンロードを行ってください。
●何らかの原因で正常に動作していない。
➡リセットボタンを押して再度ダウンロードを行ってください。再度、表示される場合はお近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。

ファイルが見つかりません：
CD-R/CD-RWにダウンロードが可能なファイルがありません。
➡『http://www.kenwood.net-disp.com』で作成したCD-R/ CD-RWにダウンロード可能なファイルが入っていることを確認してください。
なお、作成時についている拡張子（.kbmまたは.KBM）は削除しないでください。

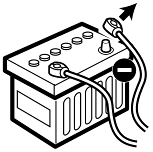
データが違います：
使用できないフォーマットのファイルをダウンロードしようとした。
➡CD-R/ CD-RWを作成し直してください。

取り付け時のご注意

⚠警告

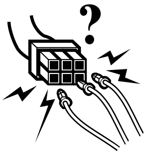
24V 禁止

大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V⊖アース車専用です。



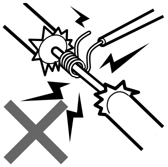
実施

配線作業中は、バッテリーの⊖端子を外してから行ってください。
ショート事故による感電やケガの原因となります。



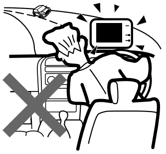
実施

本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。
配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



禁止

コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



禁止

本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。

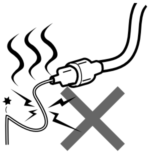
実施

本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。
また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。

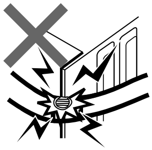
禁止

アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けないでください。事故などの原因となります。

禁止



車両電源配線用コード以外で延長しないでください。
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。
また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



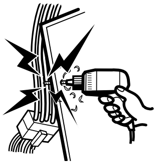
実施

車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。
コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。

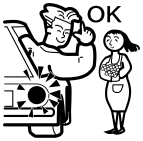
実施

バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。
車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。

注意



車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



実施

本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。

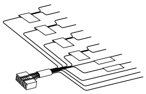
注意

本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。

実施

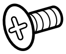
事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

取り付け用付属部品一覧

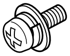


①電源ハーネス ……………1

②トラスネジ（M5×6mm）…6



③サラネジ（M5×7mm）…6



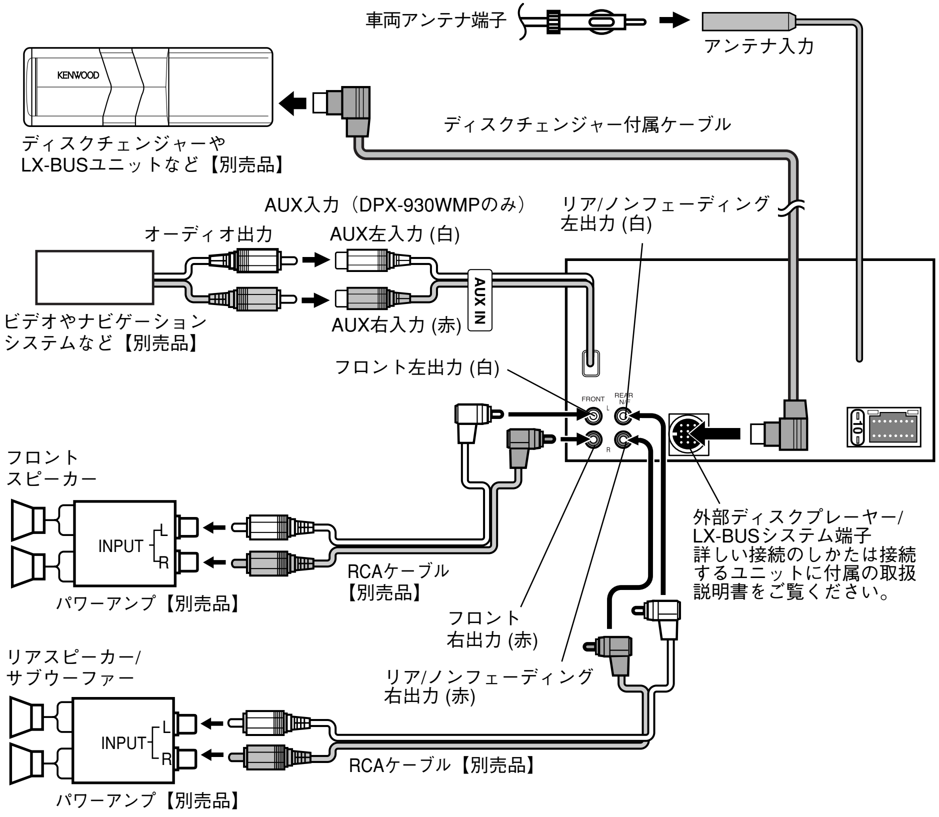
④セムスネジ（M4×8mm）…1

取り付け手順

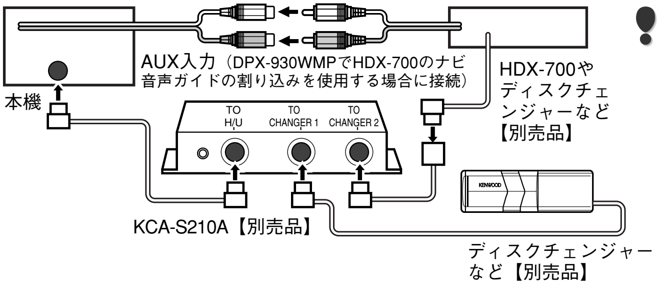
1. 本機を安全に取り付けるために「取り付け時のご注意」をお読みください。
2. ショート事故防止のため、エンジンキーを抜いた後、バッテリーのマイナス端子を外します。
3. 各セットの入・出力コードを接続します。
4. ①電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
5. ①電源ハーネスをアースコード（黒）、バッテリー電源コード（黄）、アクセサリー電源コード（赤）の順に接続します。
6. ①電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
7. 本機を車両に取り付けます。
8. バッテリーのマイナス端子を接続します。
9. 本機のリセットボタンを押します。

別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用することにより、車にベストフィットした取り付けができます。キットは取り付ける車種に応じて用意されています。くわしくはカタログをご覧ください。

- 別売品のディスクチェンジャーなどに“O-Nスイッチ”が付いている場合は“N”に設定してください。
- ナビゲーションシステムの音声出力は、AUX入力に接続します。(DPX-930WMPのみ)
- AUX入力を使用しないときは、端子のキャップをはずさないでください。

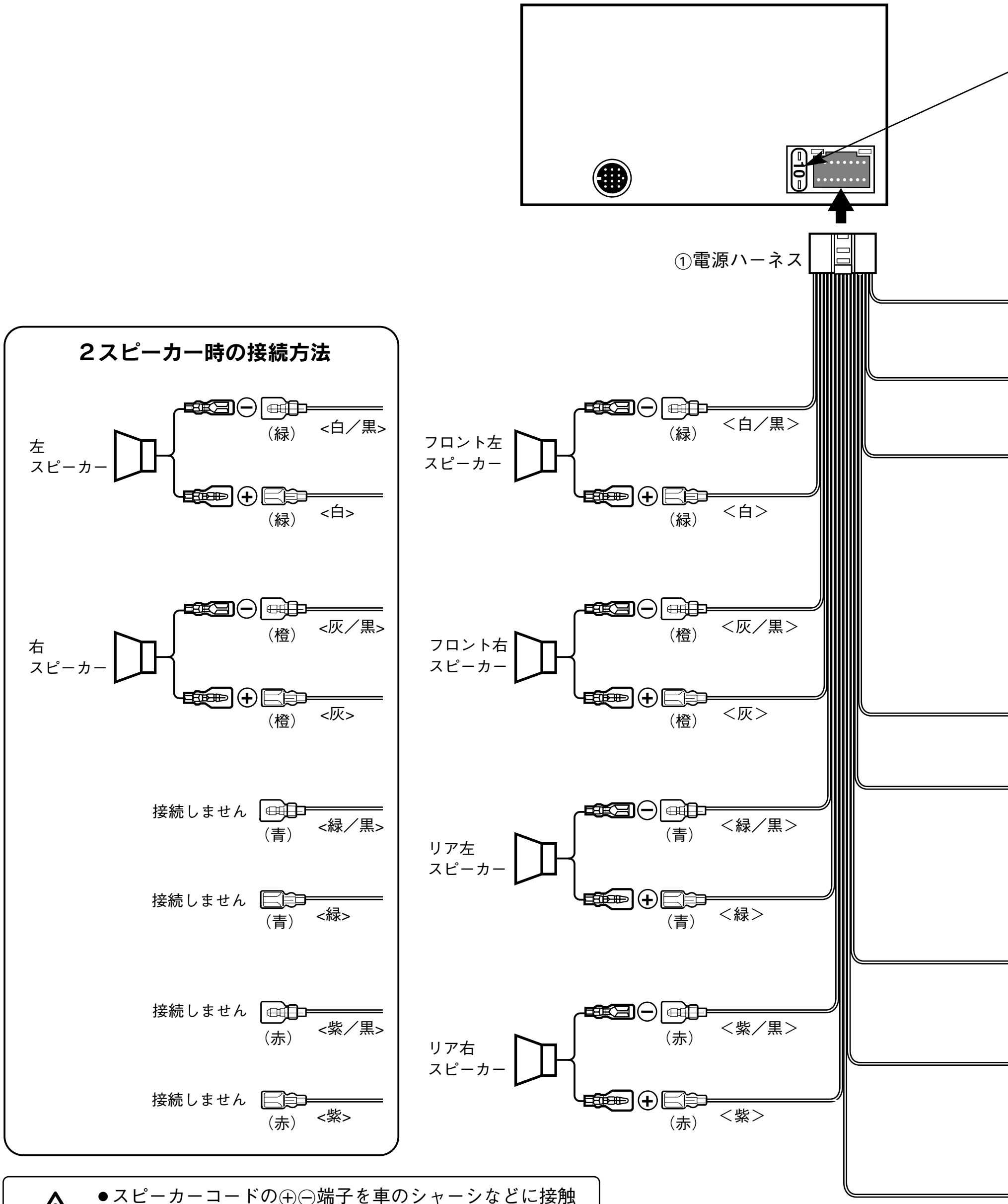


KCA-S210A(別売品)を使って接続する場合



- KCA-S210Aに付属の取扱説明書で“Dユニット”項目を参照してください。
- 別売品に“O-Nスイッチ”がある場合は“N”に設定してください。
- HDX-700は、KCA-S210Aの“TO CHANGER2”端子に接続してください。

電源ハーネスの接続



注意

- スピーカーコードの⊕⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。
- 複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。

ヒューズ（10A）

> ⚠ **注意**
> ヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、**ヒューズに表示されている容量（アンペア数）と同じ容量の新しいヒューズと交換してください。**規定容量以外のヒューズを使用すると、火災の原因になります。

ANT CONT　アンテナコントロール（青）
オートアンテナのコントロール端子やガラスプリントアンテナのブースターアンプの電源端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

P.CONT　パワーコントロール（青/白）
別売品パワーアンプのパワーコントロール端子へ接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

LINE MUTE　ラインミュート入力（茶）
ケンウッド製ナビゲーションシステムのラインミュート端子または、ミュート端子に接続してください。

> ⚠ **注意**
> - ラインミュート入力（茶）をケンウッド製以外のカーナビゲーションシステムに接続すると誤動作する場合があります。誤動作する場合は、「ファンクションセット」（54ページ）の“ナビガイド”または“NAV.ATT”項目をオフに設定してください。
> - このコードを接続しない場合は、車両のシャーシ部分など、バッテリーのマイナス側に導通している場所に、端子が接触しないように注意してください。シャーシ部分などに接触すると、アッテネーター機能（音が小さくなる機能）の誤作動が起こる場合があります。

ILLUMI　イルミネーション（橙／白）
車両のイルミネーション電源端子に接続してください。

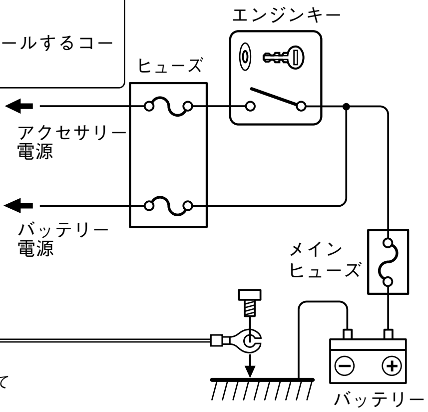
EXT. CONT.　外部アンプコントロール（桃／黒）
別売品パワーアンプの外部アンプコントロール（“EXT.CONT.”）端子に接続してください。接続しない場合はキャップを付けたままにしてください。

> ⚠ **注意**
> このコードは別売品のパワーアンプの音質などを本機からコントロールするためのものです。
> 別売品パワーアンプの電源のオン/オフをコントロールするコードは上記“パワーコントロール（青/白）”です。

ACC　アクセサリー電源（赤）⊕
エンジンキーでオン/オフできる電源へ接続してください。

BATT　バッテリー電源（黄）⊕
メインヒューズを通ったあとで、エンジンキーのオン/オフに関係なく常に電圧のかかっている電源へ接続してください。

アース（黒）⊖
車の金属部分（バッテリーのマイナス側と導通しているシャーシなどの一部）へ接続してください。

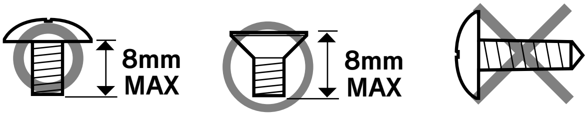


取り付け

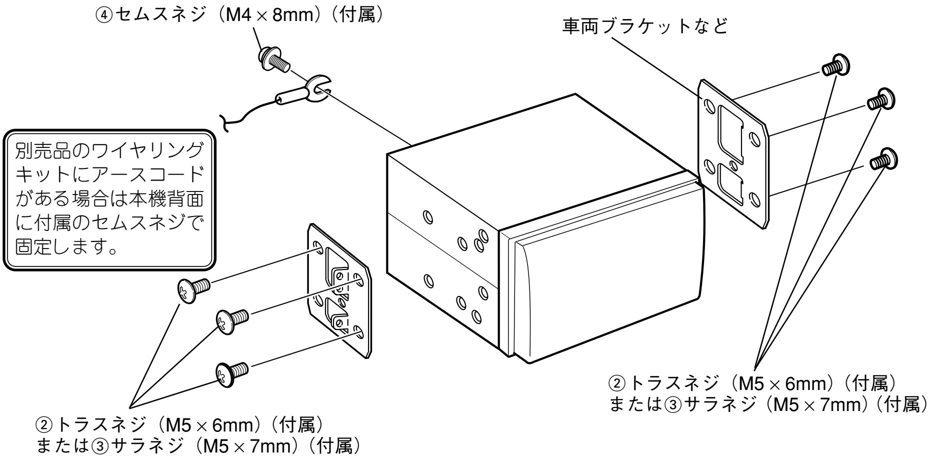
付属の②トラスネジ（M5 × 6mm）または③サラネジ（M5 × 7mm）6本を使用して車両ブラケットなどに取り付けます。

注 意

- **取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。**
  付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊されたり、発煙することがあります。
  また、短いネジを使用すると、本機が車両ブラケットなどから外れることがあります。
  なお、取り付けネジはトラスネジとサラネジが付属しています。
  車両に合ったネジをご使用ください。

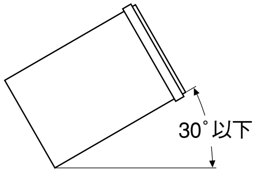


- **取り付け前にCDやMDで動作確認をする場合は、本機を水平な状態にしてローディング/ イジェクトを行ってください。**



注 意

- 本機の取り付け角度は30˚以下になるように取り付けてください。30˚以上の角度で取り付けると音飛びの原因になります。
- 操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。破損することがあります。



必ずお読みください

保証とアフターサービス

保証について

●保証書
この製品には、保証書を別途添付しております。
保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

●保証期間
お買上げの日より **1 年**です。

修理を依頼されるときは
「Help? Operation」を参照してお調べください。それでも異常があるときは、製品の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にお問い合わせください。(別紙“ケンウッド全国サービス網”をご参照ください。)

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容がすべて消去されることがあります。あらかじめご了承ください。

● 保証期間中は…
保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所が修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。

本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

● 保証期間経過後は…
お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、サービスステーション、営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。

補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● 持込修理
この製品は持込修理とさせて頂きます。
- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  （本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● 修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）
- 技術料：故障した製品を正常な状態に修復するための料金です。
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンター、営業所にご遠慮なくお問い合わせください。

仕様一覧

FMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	76.0 MHz～90.0 MHz (100 kHz)
実用感度（S/N:30 dB）	9.3 dBf (0.8 μV/75 Ω)
S/N 50 dB感度	15.2 dBf (1.6 μV/75 Ω)
周波数特性（±3.0 dB）	30 Hz～15 kHz
S/N比	75 dB (MONO)
選択度（±400 kHz）	80 dB以上
ステレオセパレーション	40 dB (1 kHz)

AMチューナー部

受信周波数範囲（周波数ステップ）	522 kHz～1629 kHz (9 kHz)
感度	28 dBμ

MDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs (λ=780 nm)
デジタルフィルター（D/A）	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400～900 rpm（線速度一定）
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	20 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	90 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	90 dB
ステレオセパレーション	85 dB

CDプレーヤー部

レーザーダイオード	GaAlAs (λ=780 nm)
デジタルフィルター（D/A）	8倍オーバーサンプリング
D/Aコンバーター	1 Bit
回転数	400～1000 rpm（線速度一定）(DPX-930WMP) 200～500 rpm（線速度一定）(DPX-730M)
ワウ & フラッター	測定限界以下
周波数特性	10 Hz～20 kHz (±1 dB)
高調波歪率	0.01 % (1 kHz)
S/N比	100 dB (1 kHz)
ダイナミックレンジ	95 dB
ステレオセパレーション	85 dB
MP3デコード	MPEG-1/2/2.5 Audio Layer-3準拠 (DPX-930WMPのみ)
WMAデコード	Windows Media™ Audio 準拠 (DPX-930WMPのみ)

オーディオ部

最大出力	50 W × 4
定格出力	30 W × 4 (4 Ω, 1kHz, 10%THD)
プリアウトレベル	1.8 V/10 kΩ
プリアウトインピーダンス	600 Ω以下
AUX入力周波数特性	20 Hz～20 kHz (±1 dB) (DPX-930WMPのみ)
AUX入力最大電圧	1.5 V (DPX-930WMPのみ)
AUX入力インピーダンス	68 kΩ以上 (DPX-930WMPのみ)

DSP部

A/Dコンバーター＆D/Aコンバーター	3次⊿Σ方式20bit128倍オーバーサンプリング
イコライザー･中心周波数	60/120/250/500/1k/2k/4k/8k/16k Hz
イコライザー･可変範囲	±12 dB（±6 STEP）
クロスオーバー･ハイパスフィルター周波数	30/60/90/120/150/180/250 Hz（フロント、リア独立）
クロスオーバー･ハイパスフィルタースロープ	12/18/24 dB/Oct.（フロント、リア独立）
クロスオーバー･ローパスフィルター周波数	60/80/100/120/150 Hz
クロスオーバー･ローパスフィルタースロープ	12/18/24 dB/Oct.
タイムアライメント	0～6.1 m（フロント、リア、ノンフェダー独立）

電源部

電源電圧	14.4 V (11～16 V)
最大消費電流	10 A

寸法・質量

埋込寸法（W × H × D）	178 × 100 × 155 mm
質量（重さ）	2.8 kg

付属部品

電源ハーネス	1本
トラスネジ（M5 × 6mm）	6本
サラネジ（M5 × 7mm）	6本
セムスネジ（M4 × 8mm）	1本
リモコン	1個 (DPX-930WMPのみ)
電池（単三）	2個 (DPX-930WMPのみ)

※これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

KENWOOD

株式会社 ケンウッド
〒192-8525　東京都八王子市石川町2967-3

●商品に関するお問い合わせは、カスタマーサポートセンターをご利用ください。
カスタマーサポートセンター　（東京）電話(03)3477-2801　FAX(03)3477-5334　〒153-0042 東京都目黒区青葉台3-17-9
（大阪）電話(06)6394-8085　FAX(06)6394-8308　〒532-0034 大阪市淀川区野中北2-1-22
受付時間 9:00〜18:00（土、日、祝祭日および当社休日は休ませていただきます）

● アフターサービスについては、お買い上げの販売店か、または、別紙「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスステーション、サービスセンター、各営業所にご相談ください。